

1. 件名：「トランスニュークリア（株）特定兼用キャスクの型式証明申請に関するヒアリング【8】」
2. 日時：令和5年8月29日 13時30分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
寺野管理官補佐、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官
（核燃料施設審査部門）
甫出安全審査官※
（システム安全研究部門）
後神主任技術研究調査官、福田主任技術研究調査官
トランスニュークリア株式会社：技術部 副部長 他3名※
（株）神戸製鋼所：エンジニアリング事業部門 原子力・復興プロジェクト部
キャスク技術室 課長
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料：
資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 コメント管理票及びコメント回答（第十六条関連）
資料1-2 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第十六条関連）
資料1-3 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 バスケット用ほう素添加アルミニウム合金（1B-A3J04-O）の概要
資料1-4 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第四条、第五条、第六条関連）
資料1-5 補足説明資料 16-2 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 臨界防止機能に関する説明資料
資料1-6 補足説明資料 16-3 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 遮蔽機能に関する説明資料
資料1-7 補足説明資料 16-6 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 材料・構造健全性（長期健全性）に関する説明資料
資料1-8 補足説明資料 16-7 16条 バスケット用ほう素添加アルミニウム合金（1B-A3J04-O）について
資料1-9 補足説明資料 4-1 4条 地震による損傷の防止 地震に対する安全機能維持に関する説明資料
資料1-10 補足説明資料 5-1 5条 津波による損傷の防止 津波に対する安全

機能維持に関する説明資料
資料 1 - 1 1 補足説明資料 6-1 6 条 外部からの衝撃による損傷の防止
竜巻及びその他外部事象に対する安全機能維持に関する説明資料

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	あ、規制庁の松野です。
0:00:09	時間になりましたので、ただいまより、
0:00:12	トランスニュークリアの型式証明申請のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:19	本日は、いろいろ資料を用意していただきましたので、
0:00:23	まずは資料に沿って説明をお願いいたします。
0:00:28	多分事前に連絡させていただきましたが、
0:00:32	まずはアルミの指摘事項の回答、それが終わってから終わったら遮へいの
0:00:38	指摘事項回答。
0:00:40	そのあと、外部事象の適合性について、
0:00:43	説明をお願いできればと思います。
0:00:46	ではよろしくお願いします。
0:00:51	はい。トランシクレイヤの下条です。
0:00:55	よろしくお願いします。
0:00:58	最初にですね
0:01:01	大きく分けてコメント回答のパートと、あとそのあとですね、
0:01:07	自然現象の
0:01:10	御説明ある地震津波竜巻についての資料のご説明を行います。
0:01:19	で、今、松村さんから、もう冒頭、
0:01:24	ご説明いただきましたように、コメント回答の資料につきましては、最初にぼろアルミのコメント回答を最初にさせていただきますそのあと、遮へい、
0:01:36	そのあとでそれら二つ以外のコメント回答の内容をご説明させていただきます。
0:01:44	まず資料 1-1 のコメント回答の資料でございます。
0:01:51	ボロンアルミのところ今回、
0:01:54	ご説明する回答につきましては赤の枠囲みをしているところになります。
0:02:01	ボロアルミの、
0:02:03	質問。
0:02:04	コメントにつきましてはページ、8 ページ。
0:02:08	コメント番号で 31 番と 32 番になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:15	31 番につきましては概要、ぼろ材料の概要説明のパワーポイントの資料で、TP線図と、
0:02:25	SNP線図で図の
0:02:30	説明があったんですけども見方せ、これらの図の、
0:02:36	見方、もうちょっと理解しやすいように説明を補足してくださいというのが一つ目のコメントになります。
0:02:45	これにつきましては後程、別のパワーポイントの資料でご説明します。二つ目の 32 番の方が、
0:02:54	マグネシウムの固溶強化にマグネシウムを添加していますけれどもその上限値、1.4%ます%添加された場合に、成型貯蔵期間中に、
0:03:07	一部析出するのかどうかと。
0:03:10	もし析出するんであればその隻数物が材料特性に及ぼす影響道具について検討を評価してくださいというのが二つ目のコメントになります。
0:03:22	一つ目のコメントにつきましては説明資料、
0:03:26	ちょっと別の資料につきましては、資料番号の 1-3 のパワーポイントの紙。
0:03:32	パワーポイント形式の資料に移ります。1-3 の資料で、はい。
0:03:40	ページの 8 ページ。
0:03:43	になります。
0:03:51	今回追記したところは、赤で文字を赤にしているところになります。
0:04:00	まず 8 ページの方では、補足説明 1 といたしまして、DTP線図、これは添付は
0:04:11	ラインぐらい無店舗ラジオアプリ式ピクリシビテーションですね、の略でPP線図とスズエとせずの見方についてということで、
0:04:22	もう少し細かくですね、補足を加えてございます。
0:04:31	この曲線は
0:04:34	ちょっとP8 ページの内容を、
0:04:37	お岩瀬いただきますけれども、PP線図っていうふうに言われていますと、或いは別名では筒井アルファベットのCのような形しますでしイシイ曲線とかっていうことも、
0:04:50	言われます。この曲線の左側ではグねえ化合物カセ析出しないと、右側では
0:04:59	化合物が石するというそういう見方になりますということを示してる図になりますということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:06	この図に示す、それぞれの隻数開始線において、左側に一つの温度では、
0:05:17	隻数は最も早く条件がその一番、一つのセンターの部分になりますこの温度の図温度というふうに呼ばれていますということです。
0:05:28	出野ゾーンの上側では、温度上昇によって、具値の拡散は早くなりますと。
0:05:35	ですけれども一方で、雇用元温度が高くなって雇用減が上がりますので、析出のクドウ力となるか飽和度というのは下がりますと、
0:05:46	後者の下方度が下がるという影響。
0:05:52	がまざった場合、結果としては関速度が低下して、席するための時間がより長時間になると。
0:06:01	ということになります。
0:06:04	そのノウゾウ温度の下側の領域では、温度低下によって雇用減が減少して過飽和度は上がると。
0:06:13	ということになりますが、一方で、
0:06:16	温度が下がりますと、阿久根原子の拡散、拡散速度が下がります遅くなりますので、
0:06:25	でもその拡散来っ速度が遅くなるという影響が、止まった場合には積速度が低下して、析出する時間が長くなると。
0:06:34	要する時間が長くなるということになりますということです。
0:06:38	で、そういうそれぞれ温度が高い場合と低くなる場合で、
0:06:46	プラダの関する条件にプラスマイナスの影響があるんですけれども、損本堂のところってのはそれら拡散等価飽和度のバランスが、ちょうど
0:06:56	バランスしてですね、一番析出しやすいような条件になっているというポイントがノウゾウの条件ということになると、
0:07:06	Aとマグネシウムの固溶強化の維持っていう観点では、マグネシウムの化合物が最も析出しやすい条件に対して評価すると、最大限安全側の評価になるということがいえるということになります。
0:07:20	ということです。これがTセンス見方ってということになります。
0:07:25	次の9ページに参りまして、
0:07:27	これ真船の関氏、出席するかしないかのSNP線図。
0:07:36	というグラフの
0:07:40	見方。
0:07:41	について

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:43	補足したものです。赤で書いているところは、前回の説明資料ではこの赤の部分っていうのが注意書きのようになっていまして、ちょっと、
0:07:54	説明が
0:07:56	わかりにくかったと思うんですけども今回それを本文の方に大きく書き写してございます。
0:08:04	改定の内容はそんなに変わってはいないんですけども、もう一度、理解の他、理解を促すためにもう一度ちょっとご説明させていただきます。
0:08:16	このSNP線図では異なるあくね添加量の隻数回線というのがほぼ一致するような条件になっているということです。
0:08:25	一番上の中の点々とか波線とか、オーバーラップしている。
0:08:31	グラフの一番右側の価格ですね。
0:08:37	セット値の添加量は違うんですけども、いずれもほぼ一致している株が一致していると。
0:08:43	これ関スカイ施栓
0:08:46	が
0:08:48	過飽和度と拡散距離。
0:08:50	によって、定期的に決まると。
0:08:53	いうことをお呼びしているというふうに考えています。
0:08:57	SALP線図では関須賀イシイ風間スズキ関守析出開始線の内側原点側ですね、の領域では真船計画物というのは、成立しないと。すなわち、
0:09:10	後での固溶強化が維持されるというふうに判断いたします。
0:09:15	ほん材料とアルミに、
0:09:18	マグネットバーマンガンが1.5%をマグネシウムが1%とボロンが1%。
0:09:25	入っているような条件の、材料の
0:09:29	になりますけれども、
0:09:31	そのを実機の条件を示す60年基準線というのが、
0:09:36	その不
0:09:37	減点側にきているのがわかりました。
0:09:41	ということです。なので、
0:09:43	真船が1%であればですね、60年間の温度履歴においても、固溶強化を維持されるということがわかりますというのがこの
0:09:56	グラフ
0:09:56	の見方になります。
0:09:59	その次のページに、もう少し具体的に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:03	見方を、10 ページになります。
0:10:06	まとめたものが、大津、補足説明の 2 ということでⅡ、追記してごさいます。
0:10:18	の SNP 線図では TP 線図を、過飽和度と拡散距離を用いて、再整理したダイアグラム線図になります。
0:10:28	データは同じなんですけれども横軸と縦軸を、こういうあほワダと、拡散距離っていうふうに見直して、それを整理し直したものであるということでごさいます。
0:10:42	先ほど申しましたように TP 線図における 4 隻サカイ支線アノ真船の添加率が、それぞれ違うんですけれども、ほぼ、
0:10:52	一致していると。
0:10:55	わかりますと、
0:10:57	ALP 線図では後で添加量が異なっても、同じ条件で、梅川宇津が設置するということを、オーバーラップするということはそういう、
0:11:07	船の展開とか異なっても後に貨物が析出するしないっていう、
0:11:12	条件については同じだということが、を示しているということになります。
0:11:18	すなわちですけれども SAP 線図の、
0:11:22	関須貝線は、実機相当のバグね添加量が 1 から 1.4% になりますけれども、それに対応していると。
0:11:32	いことが言えます。
0:11:35	この図では関塚井清の原点側の領域ではマグネシウムの化合物が析出しない。
0:11:43	すなわち強度の低下は起こらないと。
0:11:46	いことで限定の反対側では、反対側の領域では、隻数する、すなわち強度が低下するといことが、
0:11:55	オオハンというふうに判断をいたします。
0:11:58	従いまして、
0:12:00	実機の条件、
0:12:01	隻数回収、
0:12:03	条件の原点側にあるということが確認できればよいということになりますといことです。
0:12:09	TBS の見方で説明しましたように今 5 年の化合物の積速度は温度一定の条件すると、最大限安全側の評価になると。
0:12:18	実際には、チョウゾウ期間中にどんどん温度が下がって条件学校と条件が変わっていくんですけれども、ある一定の温度で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:27	評価をするということです。
0:12:30	そこでLLP線図でBOPA
0:12:36	とシュシュの温度条件がそれぞれ 60 年から維持されたものとして、評価をしておりますが、
0:12:43	それが 60 年基準線という内側の実線のカーブになります。
0:12:49	これいろんな角度と拡散距離の条件をは計算してそれを松平先生、けれども、ここでは 25° 刻み 50° 75° 。
0:13:00	100° 200、125° の 25° 刻みの特定を、
0:13:05	代表してプロットしていますけれども、その後はもちろん計算してましてそれらをオカ、滑らかなカーブに伝えた節が 60 年基準線ということになります。
0:13:16	60 年基準線はマグネシウム 1%に対して評価
0:13:20	していますが、
0:13:23	積雪回線よりも原点側に位置しているということがわかりますので、予定、5 年が 1%であれば
0:13:32	いかなる温度利益の条件においても、60 年五味、5 年の容量に阿久根の雇用量が低下して、今度適用と低下をすることはないと。
0:13:42	いうことは、わかるということでございます。
0:13:48	はい。米野さんはちょっと若干の注記をつけておりますけれども、隻数、原点側でセキスウせず、強度低下しないで下、その反対側原点と反対派領域では、
0:14:03	あと析出して強度低下をするということなんですけれども、実際には温度条件がすごい少しずつ低下してきてですね。
0:14:14	ずっと同じ温度で行って保持するということではないので、
0:14:19	この領域も、
0:14:21	評価も、保守的な評価を担っていると、ということがいえるということを書いています。
0:14:34	はい。ということで、
0:14:37	コメント番号の 31 番の補足の概要のパワーポイントの資料について、
0:14:45	説明をもう少し不足して充実させることっていうコメントに対しては、以上のと、以上になります。
0:14:55	この点について
0:14:58	ご意見ご質問あればよろしくお願いいいたします。
0:15:06	規制庁のマツノです。
0:15:09	前回のコメントを踏まえて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:15	ポイントを箇条書きでまとめていただいて、
0:15:23	わかりやすくなったのかなど。
0:15:26	思いますけども、
0:15:28	この一つ一つの箇条書きが、
0:15:31	このグラフ。
0:15:34	と、
0:15:35	に比べたときに、
0:15:38	パッと読んでこのグラフのどこを指してるのかっていうところが、
0:15:43	まだ、
0:15:45	いまいち、
0:15:47	よく読み取れないところも、
0:15:51	あるんですけども、
0:15:55	例えばこのポイントは多分7ページ目のところの、
0:16:00	この解析結果は以下の2点を示しているってところのこの①と②の ところの、
0:16:08	多分、
0:16:11	ポイントになって、
0:16:13	その見方は、8ページ目に書いてあるんですけども、
0:16:19	せめてこの①と②は、
0:16:22	グラフのどこの部分を指してるのかっていうところは何か、
0:16:26	一対一で、
0:16:28	文章と、
0:16:30	グラフが、
0:16:32	すぐ見てわかるような、何か工夫等はできませんでしょうか。
0:16:40	篠崎さんお願いしてよろしいですか。
0:16:45	神戸製鋼の篠崎です。ご質問ありがとうございます。できますので、ご 指摘いただいた7ページの①と②について説明を補足したいと思います す。
0:16:57	口頭ですけども具体的にどのような説明を追記するかという、説明御 説明ご説明をちょっと簡単にさせていただきます。
0:17:06	右側の図を見ていただきたいんですけども、まず赤いですね、実線で 示しているものがですね、過剰にマグネシウムを添加した、ほう素添加 アルミニウム合金になります。
0:17:21	そしてですねその隣に黒い実線、非常に近傍にございますがこれが同 程度のマグネシウムを添加した

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:30	アルミマンガンマグネシウム合金のほう素添加していないものになります。
0:17:35	この石室回線は、析出速度を示すものでございますがこの2本の線が、ほぼほぼほぼ一致していると、いうことから、この①、ほう素添加が、
0:17:47	ぐみ系化合物の析出層クドウに及ぼす影響は認められないと。
0:17:52	ということになります。この点を①については追記させていただくということになります。次に②でございますが、今度黒い実線3本ございます。これらについてですね、見ていくとですね、
0:18:06	0伊井プロットに付随している。
0:18:10	5%のマグネシウムを添加した、ほう素無添加大ですけれども、につきましては、
0:18:18	4%5%1003%、それと比較してですね。
0:18:22	4%のやつはひし形ですね。
0:18:25	のプロットに付随してるC曲線、それから3%のやつは、
0:18:32	三角ですね白抜きの三角に付随しているC曲線になります。このようにですね、ほう素、方マグネシウム濃度を下げれば下げるほど、析出開始時間が長時間側にずれていくと、ということがわかります。
0:18:48	ということから②、長根添加量が増加するほど析出速度が速くなる傾向が認められるというふうに解釈されますのでこれらについてですね、
0:18:58	追記させていただきたいと思います。以上です。
0:19:03	はい、お願いします。
0:19:06	何かこの他何かコメント。
0:19:09	質問がありましたらお願いします。
0:19:21	規制庁櫻井ですけどすみません、図のこのす、8ページなんですけど、この析出開始線っていうのはこの線を全部言うんですよね。
0:19:33	なんか、開始前って、開始点になっちゃうかもしれないですけど、どっちが先なのかな。
0:19:38	ていう、
0:19:40	図温度ってのはこの尾山のところだと思うんですけど、どっちが先とかあるんですかね。
0:19:45	私も文章だけだとう。
0:19:48	どこを言ってるのかがわからない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:51	神戸製鋼の篠崎ですご質問ありがとうございます。あとまず点が先が千賀咲佳っていうところですか。点が先になりますんでこの点に対してモデル式作ってとかフィッティングしているという結果に、
0:20:05	なります。
0:20:07	よろしいでしょうか。
0:20:57	なるほどですね。
0:20:59	はい。先ほど下条から説明あったんですけども、この積志通時間というのが、
0:21:08	何て言うんですか。
0:21:12	本郷絡みオンダから見ると、二次関数みたいな形に時間数じゃないんですけど、形になるので、そうですそうです。
0:21:20	はい。
0:21:22	そうですね。その方が多分、
0:21:25	体感的には見やすいですね。
0:21:28	なので、はい。そんな、
0:21:53	あ、規制庁松野です。
0:21:57	そういった意味では9ページ目のこの黄色黄色のマーカの見上から三つ目と四つめのところも、
0:22:08	少しもう文章とグラフとか、
0:22:13	未読んですぐ、2、
0:22:15	グラフの絵がイメージつくような形でもう1工夫。
0:22:19	お願い。
0:22:22	できますか。
0:22:23	例えばこの三つ目の黄色では、
0:22:26	異なる、異なるマグネシウム添加量の析出開始点がほぼ1とする傾向が見られ、見られるっていうところは、
0:22:39	この線が、
0:22:42	手前で赤の線があって、もうその次が、
0:22:49	重なってるところが、
0:22:53	ほぼきちっとする傾向が見られるっていうところ。
0:22:58	そういう理解でよろしいですか。
0:23:00	はい。その通りでございます。
0:23:02	これは関石塚医師条件が、
0:23:06	過飽和度と拡散距離により、
0:23:13	定まることを意味している。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:24	二つ目の黄色では最後の黄色のところでは、
0:23:29	関歯科医師線の内側、
0:23:35	原点側の領域では、
0:23:37	これ、どこのことを指していますか。
0:23:41	神戸製鋼の篠崎です。これは 10 ページで、詳しく、この点は説明させていただいて、
0:23:50	おりまして、10 ページの図で、水色に塗っている領域が、
0:24:00	原点側になります。関塚井清の原点側になります。その反対側が、
0:24:05	兵
0:24:07	現金側の反対側と、
0:24:10	そういう表現はしてないですけども、この関塚イセンを、
0:24:14	隔てて原点側とか、その反対側っていう言い方を、
0:24:18	しております。
0:24:24	9 ページ目と 10 ページ目のこの、
0:24:28	上から黄色のマーカー三つ目と四つ目がそれぞれ、
0:24:34	10 ページ目でいうと、どこの部分の説明かっていうところの、
0:24:39	あれが多分、
0:24:43	例えば、黄色のマーカー三つ目だと、10 ページ目でいうと、
0:24:48	どこの部分になりますか。
0:24:52	はい。9 ページのすすめの 3 ポツ目は、10 ページで言いますと、
0:24:59	まず 2 ポツ目。
0:25:03	3 ポツ目。
0:25:07	4 ポツ目。
0:25:10	になると思います。
0:25:13	完全に一対一対応かっていうところはちょっとあれですけども、
0:25:17	概ねそういう、2 ポツ目から 4 ポツ目が、9 ページ目の、
0:25:23	3 ポツに該当すると。
0:25:25	いうふうに思います。
0:25:46	9 ページ目の説明を
0:25:49	と、10 ページ目のところがもう少し対応関係をちょっと明確にわかるようにちょっと修正をお願いできますか。
0:25:57	はい、承知いたしました。
0:26:03	規制庁のテラノです。ちょっとすいません、衛藤営業部教授、何点か教えていただきたくて 19 ページ目、このグラフで結局趣旨としては、マグネシウムの添加量が 1%ますパーセント。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:17	それであれば、
0:26:19	別にそれ以下、マグネシウム添加量はそれ以下にはならないという説明を、
0:26:23	したいという、
0:26:25	ことになるんですよ。そういう場はもう 10%×であれば、
0:26:28	結局、もう四つの線が重なっているところよりも現地よりなので、
0:26:36	析出はしない。
0:26:40	はい、その通りでございます。1%×で法人 60 年化されますよってという説明をしてるっていう。
0:26:46	はい。その通りでございます。
0:26:47	あともう一つ次のページの 10 ページ目の左下の
0:26:53	米野さんの注意書きなんですけれども、温度低下する実機条件において安全課の評価となるというところの、
0:27:00	ところなんですけど、これは衛藤、
0:27:04	御説明の意図としては、温度が下がれば拡散距離は佐古オクさん給料、
0:27:09	長くはならないので原点側にグラフがよりますよってという趣旨ですか。
0:27:27	申し訳ないですもうもう一度よろしいですか。この※3で
0:27:33	次っかい。
0:27:35	実機を想定すると徐々に温度が低下するのでこのグラフは保守的なグラフですってという御説明のところなんですけど、この温度が下がれば、保守的なんですよってというところの説明の、
0:27:47	ここ、意図としては、このグラフが温度が下がれば、この赤い線、アカイシっていかその下の原点寄りのちょっと太めの赤い線が原点よりもっとずれてきますよっていう、
0:27:59	こと。
0:28:01	ありがとうございます。
0:28:05	この趣旨といたしましては我々例えば三菱重工さんと違って三菱重工さん来徐々に温度下げていって、その強度の底地がここですよみたいな説明されてると思うんですけども、
0:28:16	我々は特にマグネシウムの固溶強化に着目して、それを考えたときに、
0:28:21	その一定温度すべからく説明するのが最も安全側になるっていう態度で、
0:28:27	ヒアリングとか審査臨んでいるわけです。そこは先行案件との差異なのでっていうところもあり、また

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:37	我々としてそれが一番安全側なんですけど、最大限安全側なんですという主張をしたいと。
0:28:43	いう思いがここに込められた。
0:28:45	いうこと等になります。
0:28:49	あと規制庁のテラノです。すいません
0:28:52	本当に感覚でしかないんですけど、温度が高い方が、マグネシウムは金属の中に溶けているっていうイメージが強いんですけども、温度が下がると、どっちかという析出してくるんじゃない方向に働くんじゃないかっていうイメージを持って読んでいくと、
0:29:05	温度が下がるから安全側ですと言われると、
0:29:08	どう、どう理解したらいいのかなっていうところが、
0:29:14	比較しているのは、キャスクの実機条件において、徐々に供用期間中にバスケットの温度が低下していくと。
0:29:23	いう条件だと、この評価で扱ってる、ここの資料の評価で扱ってるのは一定読むと、
0:29:31	いうことになりますんで、その比較をしたときに、1.4 度では、室温ぐらいから、
0:29:39	このグラフには 50 度って現れてますけど、それから 125 度ぐらいまで評価している。
0:29:44	いうことになりますがこのこれらの温度対応、すべてですね。
0:29:50	100 度とか 125 度の間もですね、ここ評価してて、
0:29:55	図示していないだけで評価してるんですこれらを数珠つなぎに合わせているので、
0:29:59	例えばですね一番マグネシウムが析出しやすい温度体って、
0:30:05	この 60 年基準線と石室回線が一番近接しているところなので、大体 100° から 75° の間に、
0:30:13	が一番析出しやすい温度体なんです。明確に難度ですっていうふうにはちょっと言い作りにくいんですけどもマエダ、間違いなくこの間にあるわけなんですんで、この一番、
0:30:27	析出しやすいところで、60 年間一定温度で評価しているっていうのは、
0:30:34	先ほどTPPSenoゾーン度ってありましたけれども、
0:30:38	きっとですね、
0:30:39	一つじゃないですね 1% の場合はその最も析出しやすい濃度がこの 100 度から 75° の間にあると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:47	その坪のところ、60年間評価してるから安全側なんですと、そういうイメージになります。
0:30:54	すいません。ちゃんと資料読んでなくて申しわけませんでした。はい。よくわかりました。すいません。
0:31:09	他、よろしいでしょうか。
0:31:14	特になければ次の説明をお願いします。
0:31:21	はい。
0:31:22	TMシモジョウでございます。
0:31:24	先ほど、コメント回答の資料のコメント番号32番ですね、マグネシウムの添加量が1.4%MAXの1.4%入ったときに、
0:31:37	析出するのかわからないのがあり、隻数する場合にはその影響評価をしてくださいと、材料特性に与える影響評価をしてください。
0:31:46	ユフメーカーです。
0:31:50	パワーポイントのコメントガイドの1-1の資料ですね、資料番号1-1の大戸さん15ページ。
0:31:59	になります。
0:32:05	35ページの方、最初にですね、詳細には次のページから詳細な説明があるんですけども、今回のコメントに対する、
0:32:18	回答の趣旨といいますか要旨飯尾を概要を最初にまずまとめてごきます。
0:32:26	60年基準線、先ほど議論がありましたけれども10年基準線というので評価をしていますが、マネ添加量2に対する感受性を行って言いましたと。
0:32:39	後ね添加量が1.3%のときに、ちょうど60年後に孫に化合物が設置するかまたはしないかというちょうど閾値の条件になっております。
0:32:53	ということです。二つ目の、そのため、
0:32:57	あぐね添加量が規定値、
0:32:59	規格の範囲の上限1.4%です。
0:33:02	である場合には最大です。差分ですね、1.4-1.3になりまして1%分のマグネシウム固溶したマグネシウムが、
0:33:14	化合物となって積する可能性があるということになります。
0:33:18	ということです。
0:33:20	3ポツ目でこのような組織変化が材料特性に及ぼす影響を、
0:33:26	評価するために、
0:33:28	この材料よりもその過剰に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:31	大体実製品の材料では1%前後なんですけれども、マグネシウムを多く加重した過剰に添加した資料を、事故処理、
0:33:43	そして、マグネシウム積された資料で評価をしましたと。その結果、
0:33:50	それする真船の化合物が析出した場合においても、材料特性に及ぼす影響はアモチできると、ほとんどないというようなことが、
0:34:01	を確認しましたというのが、今、これから説明する、回答の趣旨、
0:34:09	概要になります。
0:34:10	次のページに参りまして具体的にご説明させていただきます。
0:34:17	まず50年基準線の後ね添加量とその60年県政の阿久根天雅医療に対するがんの感受性、析出の感受性ですね。
0:34:28	を解析した結果、結果が図の32-1に示してございます。
0:34:35	60年基準線と言ってルー線が内側から赤と黄色、緑、
0:34:42	水色、紫色と。
0:34:44	いうふうに並んでおりまして、それぞれ内側から1%あぐね転嫁率が1%1.1%1.2%1.43%で、紫が1.4%というふうに対応してございます。
0:34:58	このグラフ見ていただきますとちょうど水色の線がですね、
0:35:03	積スカイ線。
0:35:05	の上に、ちょうど今100度ぐらいのところ、ちょうど上に乗っかってると。
0:35:11	ということですので、
0:35:14	すいません。で、ちょうど1.3%の
0:35:19	マグネシウムの添加率のときに、
0:35:22	ちょうど積雪するかしないかのちょうど境目のウンテンカイ率になると、ということがわかるということです。
0:35:30	1.4%になりますと、ちょうど100のあたりになりますけれども、関スカイ線を飛び越えて原点と反対側の方にありますので、
0:35:43	この1.4%の条件では、
0:35:48	一番コンサバな条件としては100度ずっと60年間保持した場合にですね、
0:35:55	ちょうど、
0:35:57	1%、0.1%分、
0:35:59	ぐらいの過誤今船化合物が析出する可能性がある、ということを示しています。
0:36:06	ということです。
0:36:08	と言うような分。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:11	音がオノを、感受性の
0:36:16	解析からわかったと。
0:36:18	ということになります。
0:36:20	左側の説明の、
0:36:23	今説明した内容が上から 123 ポツ目まで説明しました。
0:36:29	最後になお書きで書いてありますのは実際の許容応力を設定する時の材料は、後に 1%の条件の材料で評価していますので、
0:36:44	実際、例えば、
0:36:46	1.3%分の容量が一切で言えば材料強度特性得強度上の問題は全くございませんということ、なお書きで書いてございます。
0:36:59	えっと次のページ、37 ページの方に参りまして、
0:37:05	次にですね、3 項目目ですけれども、後で化合物の析出が材料特性及ぼす影響について評価をしております。
0:37:14	で、今ご説明しましたように、最大 0.1%のマグネシウムが化合物となって積する可能性があるかと。
0:37:24	ということになりますのでこの 0.1%部分の析出物がどのような影響を及ぼすのかということの評価をすると。
0:37:33	ということになります。
0:37:36	ただ、自治体の条件ではです。
0:37:39	年 1%程度の材料で、この 0.1%分のマグネシウムの積スツ物を関させるというのはなかなか現実的には難しい。
0:37:52	ということですので、ここの今回の評価では、過剰に後 2cmアノサンパ 具体的には 3%程度なんですけど 3%のマグネシウムを添加した材料の
0:38:05	事故処理した材料試験をもっと結果を用いて、評価を行いました。
0:38:11	ということです。
0:38:16	2 項目め、2 ポツ目ですけれども、比抵抗と測定した結果では、
0:38:22	温度条件として、
0:38:25	125 と 150 と 175 度、
0:38:28	3 温度水準 3 条件の
0:38:32	方、
0:38:33	事故処理条件で、マグネシウムの公用マグネシウム量の定款、
0:38:40	が認められています。
0:38:42	が、ここのこの概要を回答資料の中では 1 例として 150 度で事故処理したデータを

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:53	図の 3-32-2 に示しております。補足説明資料のワードの資料ですねそこではすべて 125 と、150 と 175 度のデータもすべて載せております。ここでは 150 \$。
0:39:07	150 の材料について、代表して載せているということでございます。
0:39:14	32-2 に示しましてますが、この図は、
0:39:18	衛藤。
0:39:20	常総メール脂身の式っていうのがありまして表を式から、評価した析出あぐね量。
0:39:28	石スマホね量というのはイコール雇用番号の医療の減少量というのを設置しますけれども、これと評価される協働低下の予測。
0:39:39	実測値、これ体力と、引っ張り調査についてですけれどもそれを合わせて示したものになります。
0:39:48	ちょっとページめくっていただきまして 39 ページのグラフを見ていただきますと、
0:39:56	ネット上の方が体力で、下の方が引張強さの図になってございます。
0:40:02	赤い丸印が、実際の引張試験やった方、次データになっておりまして、なっております。
0:40:13	ハバノは千賀データの平均値を
0:40:19	示したものです。
0:40:22	ぐらいの、
0:40:23	カーブが、強度低下の予測をしたものになります。
0:40:30	強度低下の予測っていうのは別の試験で、マグネシウムの添加率を変えた場合に、そのマグネシウムの
0:40:40	固溶強化によってどのぐらい、その強度低下の、
0:40:46	強度特性に与えるマグネシウムの添加量が強毒性を及ぼすかというのを
0:40:54	データを取得したグラフがありましてそこから、
0:40:58	強度低下の予測をしたものになります。
0:41:02	で、赤い実線が 100 今回、このグラフでは 150 度になりますけれども、隻数量、
0:41:11	示したカーブになります。
0:41:15	で、今回席数量はそのグラフの右側の
0:41:22	軸に示していますけれども、真船が今 1.4%展開量に対して 1.3%までは雇用が維持されるので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:32	残りの 0.1%分が石する可能性があるということになりますので、ちょうど
0:41:40	右側の縦軸で 0.1%ののところですね。
0:41:45	それと、
0:41:48	交差するところがちょうど 60 年間、
0:41:55	保持した時に使ったときに、
0:41:59	1%0.1%分のマグネシウムが析出する条件と、同じような条件になると、いうことを示しています。タテのグラフでですねタテの破線で、
0:42:12	示してますけれどもちょうど時間でいうと、1000 時間のちょっと、
0:42:17	北川引地イデ 800 時間ぐらいのぐらいのところには、例えば発言がありましてその条件にあります。
0:42:26	そこを見ますと、
0:42:28	0.2%耐力では
0:42:32	ほとんど降雨強度低下も起こっていないと。
0:42:35	実際にはマグネシウムが若干
0:42:41	析出しますのでその分固溶強化、
0:42:44	が低下して、強度低下が起こるわけなんですけどその予測時がグレーのカーブになりますけれども、そこを比べても、あんまり変わらない。
0:42:55	ほとんど変わらないような、
0:42:58	が上官なってるのが、わかります。同じように引っ張り造作を見ていただきますと、
0:43:06	グレーの強度低下の予測カーブに対しまして、実測値は島アノ体力もそうですけども若干上側で分布しています、グレーのカーブよりもですね、分布していて、
0:43:19	ちょうど 0.1%を析出した条件で、
0:43:24	タテの破線のところを見ますと、
0:43:28	ほとんどほぼ、
0:43:30	実測データ、平均園児の赤の破線のところを見ていただきますとほとんど初期材料のほとんど変わらないようなこと。
0:43:41	強度特性になってまして。
0:43:43	0.1%のを設置するしているかもしれないんですけども強毒性としてはほとんど変わって、
0:43:51	というのがわかりますということです。
0:43:55	その次のページには伸びと搾りのデータがあります 40 ページありますけれども、伸びお絞りのデータがございますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:03	グラフの見方としては全く同じでちょうど 0.1%に相当する、時間体のところを見ていただきますと、伸びにつきましては、
0:44:15	初期材のほとんど変わらない。
0:44:18	変化なしと。
0:44:19	いう。
0:44:21	のがわかります。
0:44:22	絞るにつきましてはこの絞りの方が若干データのばらつきの大きいなデータになってますけれども、
0:44:30	全体的には若干、海側に振れているように見えますけれど、見えてますけれども、これ
0:44:37	データのばらつきも大きいということもあって、初期条件、
0:44:42	析出する前の条件と、ほとんど変わってないというふうに
0:44:48	我々の方では解釈をしていますので、予備と絞りにつきましても、ほとんど 0.1%の後での積雪の影響というのは、
0:44:58	ないというのが、このグラフからわかるということです。
0:45:03	本文の 37 ページの方にちょっと戻りまして、グラフを見ながら大体ご説明をさせていただきましたけれども、(1)の体力と 0.2%耐力と引張 13 につきましては、
0:45:18	いずれの温度条件、
0:45:19	につきましてもここでは 150 度のデータだけ代表で示してますけれども、他の温度条件についても同じです。析出ぐらいの積数量で 1.1%に相当する、0.2%耐力と。
0:45:34	引張場サーが共同テイカーの予測値を若干上回るところで分布していますと、で、
0:45:43	これについては、
0:45:45	もうほとんど共同特性としてはほとんど変わらないんですけれども、予想を予想する共同。
0:45:52	マグネシウムが積することによって、孫ねこ固溶強化がさ、低下することによって、影響度が若干下がるというふうには予想してたんですけれども、それよりも、さわらずに、
0:46:05	ほぼ同じような強度を維持すると。
0:46:07	いうなことで、これにつきましては、後の固溶強化は減るんですけれども、上の化合物による分散強化が逆にプラス側の影響として、
0:46:19	作用。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:22	効果がそういう影響が出ている可能性があるというふうに考えてございます。
0:46:28	小人絞りにつきましては、いずれの温度条件でも初期値に対して、有意な変化は認められなかった。
0:46:36	いうふうに解釈しております。
0:46:38	なおですけれども鉄鋼材料においては絞りっていうのはシャルピー衝撃試験から選べる吸収エネルギーの吸収エネルギーの靱性値の指標になるデータの一つでありますけれどもその
0:46:51	相関が知られていますが、60年後の2.1%マグネシウム石油した場合においても、
0:47:00	絞りがほとんど変わらないと、いうことですので、人専用部生協というのを無視できるとほとんど変わらないと。
0:47:10	いうふうに考えておりますと考えられました。
0:47:14	いうことです。
0:47:18	3、28ページの方に、
0:47:24	マグネシウムの化合物が析出。
0:47:28	すぐ関管材料特性に及ぼす影響の評価のについてスズキですけれども、
0:47:36	えっと直で、
0:47:42	失礼しました。
0:47:44	への本影響評価では過剰2万マグネシウムを添加した材料で事故処理した結果を用いて説明していますが、
0:47:56	これ実機と比較してですけれども、強度及び靱性、括弧的エネルギーの評価上次に述べる理由から保守的であるというふうに考えております。
0:48:08	D地域の相当材、敷材の相当あぐね添加量では、卵の析出は今回実施した。
0:48:16	事故処理の料金も低い、100℃前後の条件生じるんですけれども、一般には熱傷量温度が低いほど、隻数実際になると。
0:48:28	ということが知られていまして、
0:48:31	ここは従って今回実施した事故処理条件では、
0:48:35	析出組織を敷材でも素材にすると。
0:48:39	いうふうに考えられますので、共同自営整地等の機械的特性を、安全側に評価している、そういう組織状態も材料を評価しているというふうに考えております。
0:48:53	いうことです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:55	結論といたしましては、冒頭申しました通り、繰り返しになりますが、
0:49:02	まずマグネシウムが 1.3%までは析出しないと、残りの 0.1%分が最大石油する可能性があるかと。
0:49:12	ということです。その 0.1%分を隻数が生じたとしても、体力と引っ張りでオーサーは、
0:49:22	その分低下する可能性があるんですけども、
0:49:28	実際にはほとんど変化をしていませんで、
0:49:35	しておりません。
0:49:39	で、
0:49:42	ごめんなさいちょっと説明が先ほどございました 1%分だけ析出するのでその析出した分だけ、固溶強化が減って強度低下する可能性があるというのが二つ目のですね。
0:49:55	二つ目の宝庫現場です。
0:49:58	三つ目に、過剰にマグネシウムを添加した 3%ですけども、試験結果から、その 0.1%分の
0:50:09	析出による影響というのは、
0:50:12	0.2%台を引っ張り造作は、実際には若干低下すると予想されるんですけどもそれでもを少し上回る傾向が見られました。
0:50:24	それ逆に化合物の分散強化が寄与した可能性があるということです。野辺絞りにつきましては、初期の状態からほとんど変化していないと。
0:50:35	で、搾りは、人生等関連する吸収エネルギー闘争間欠関係があると。
0:50:43	ということですけれども、それもなので変化しないと、なので人生に及ぼす影響もないということです。以上から五級期間中に、
0:50:54	0.1%分の性質による提供というのは協働とその人生、
0:51:00	2 もの指標との吸収エネルギーの両方でも問題ありません。
0:51:05	いうことに、すぐ、
0:51:07	ということでございます。
0:51:09	最後に、伝熱特性はということになりますと、マグネシウムの固溶量が減ると、雇用元素が減ると逆に、熱伝導率っていうのは大きく増える方向でありますので、
0:51:22	初期の状態よりも、60 年後になるほど熱伝導率は高くなると、いうことでございますのでこれも順次設計上特に問題ないということになります。
0:51:34	というのが、今回の検討結果の回答になります。
0:51:39	ご説明以上になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:47	規制庁松野です。
0:51:50	では、
0:51:51	今のご説明について何か質問確認等がありましたらお願いします。
0:52:08	規制庁福田です。
0:52:10	資料 40。
0:52:11	ページ。
0:52:12	回答 6-6 っていうやつ、
0:52:16	頭絞り、
0:52:18	のデータが、衛藤。
0:52:21	ばらついている理由なんですけど、これ、
0:52:27	なんでばらついちやったんですかねとか、実際の実験だからしょうがないと言えはしょうがないんですけど、
0:52:34	何、破断の形状が結構ガタガタだったとかそういうことなんですか。
0:52:45	神戸製鋼所野崎です。搾りの測定方法ですけどどうしても人力でっていうのもありますけど、それ以前にその形状、
0:52:57	形状で測定するものなのでどうしても
0:53:01	ばらつきやすいものではございますシャルピーとカトウ。
0:53:05	あと、そういったものと似てるところがあって、
0:53:10	もともとばらつきやすいものですよって、
0:53:15	すみません
0:53:17	すいません、そういうイメージです。ごめんなさい。
0:53:20	はい。ある幅っていうか結構幅がでかくてその中でばらついてるっていう感じで、これ、この絞りの意図は、何か著しく低いところがないってことを確認するっていうそういう意図でいいですか。
0:53:35	はい。その通りです。表平均使ってちょっと整理させていただいてますけれども、概ね、
0:53:42	初期値から表現教本初期値から、各事項時間のですね、平均値が低下していないということですので、
0:53:55	機械的特性、800 時間の辺りを見た時にですね、なので機械特性の劣化って生じてないですよと、そういうことを言いたいために載せさせていただきました。以上です。
0:54:11	ありがとうございました。
0:54:17	他ありますでしょうか。
0:54:22	すいません規制庁サクライですけど、SP37 ページの比抵抗を測定した結果、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:29	すいませんそもそも論であれなんですけど比抵抗測定した結果がこの120550。
0:54:35	175 の、なんちゃらで1例としてここに載せての150度だよってあって、補足説明資料を見たんですけど、これ
0:54:45	厳しい。
0:54:48	今回提出いただいた資料1-8のあれですね、別紙1、13-6。
0:54:56	に、この白枠なんですけど、
0:54:58	120550175 ってあるってことです。
0:55:03	これがその意味です。
0:55:10	はい、その通りです。
0:55:14	私、理解力があれなんですけど、1例として150度の説明をいただいている理由って何ですか。
0:55:27	175でも125でもよかったけどってということなんですか。
0:55:33	はい。
0:55:35	コメント回答資料をできるだけ簡略化するためっていう意味で、すべての温度について同じことがいえるということございまして詳細には別紙の方で説明するという考えで、
0:55:48	PPパワポの方では、はい、150度代表で選びましたけれども、他の温度についても同じことがいえるというふうに考えております。なるほどです。
0:56:01	この比抵抗測定した結果を、そもそものはこのイセなをして測定した結果を示していただいている理由。
0:56:11	で、これ何なんですかねって何かググルめぐっちゃうんですけど、
0:56:20	まず、神戸製鋼篠崎です。この資料では比抵抗の測定結果を示してないんですけども、別紙3に、
0:56:29	ございますということですね。説明、ちょっと、
0:56:36	なぜ比抵抗必要なのかっていうところでございますが石室の変化傾向石室のものですね。
0:56:43	何か析出量を見積もるためにしてこう使っているということでございます。
0:56:49	グラフの中にですね、析出量と、実線で色つけの実線で示してございますが、この評価をするときにですね、
0:56:59	実験結果から獲られた比抵抗の解析結果を用いていると、いうことございまして、
0:57:08	そういった、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:10	簡単に言うと析出量、
0:57:13	もうグラフの中に示すために、抵抗を引き合いに出してこれを使いましたよという説明の趣旨です。
0:57:24	ありがとうございました。何となく今理解できました。ありがとうございました。
0:57:34	他ありませんでしょうか。
0:57:38	ホデさん何かありますか。
0:57:52	文章。
0:57:56	これ、あれ、改善分でしょ。
0:58:31	それでも一瞬だよ。わかんない。劣化しますけどすみません。
0:58:44	ほ、これさーん。
0:58:47	こうやって益子。
0:58:52	すみません、あんまり。
0:58:55	何回か読んだんだけどあんま頭入ってこなくて困ってるんですけども。
0:59:05	最初のね、何だこれ。何だ、一番最初のやつ。ええ。
0:59:13	PT、TPP曲線っていうちょっと非常にプリンタープリミティブなことをお聞きするんですけども、
0:59:22	TT曲線でこれ、資料1-3の8ページに書かれてるやつで、非常に高い、まず、
0:59:36	坂が具値がね結構高いやつが書かれてて、
0:59:42	実質は、この号炉んアルミなり、今回のこのバスケット材料であると、この椎野図っていうのは、1、10万時間アリマ受
0:59:54	用はどんどん右に来るっていうことなんですかねで、
0:59:57	実際、
0:59:58	データ取れるわけじゃないから、
1:00:01	こんな傾向がありますよっていうことで示されてるといいう。
1:00:07	ことでいいんですかねじゃ、ちょっとその辺からよくわかんないんですけど、すみません。
1:00:18	もしね、すみません、ホデですけども、もしこの
1:00:26	PP線図で、今回のトランスニュークリアのこのバスケット材料を、この線で書けるとしたら、
1:00:37	さらに筆の量が少ないから、
1:00:43	この椎野図がCの形状のものがもっと右に来るといふふうに考えてよろしいんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:51	神戸製鋼の篠崎です。まさにご指摘の通り仮にですね1%相当に対応するC曲線が、
1:00:58	この8ページのTP線図に示されるとする等、
1:01:05	次、これ横軸時間ですが、
1:01:11	60年を超えるアノ面で、石室C曲線が描かれると。
1:01:19	ということになると考えています。以上ですということなんですよこれ。要は、時間的なファクターもあるし、
1:01:30	等、
1:01:32	もちろん含有される株主分量に依存するんだけど、
1:01:39	要は、具での含有量が高ければ、早く、
1:01:44	早く関です。
1:01:45	今ある温度で石使う回数では、温度は高く、かつ、開始する時間は割と早いけれども、どんどんどんどんそれは、
1:01:56	両方ともどんどん長くなっていくということで、この図から見ても、少なくとも、予想はできないけど、
1:02:04	さらに右側で、1万時間なのか10万時間の先なのかわかんないけども、
1:02:09	そこで、
1:02:13	積使い支店なりなんなりがあらわれるだろうと予想されると考えていいんですね。
1:02:19	はい。まさにその通りでございます。ありがとうございます。わかりました。
1:02:24	でね、
1:02:26	もっとわかんないんでSALP線図なんですけども、
1:02:33	これは
1:02:35	どれを見ても、
1:02:39	まずすいませんか飽和度っていうのは、前回もご説明いただいたかもわかんないですけど、もう一度、これは何を何で終わった辺りなんですか。
1:02:50	神戸製鋼の篠崎です。江藤分母が雇用減ですね。
1:02:56	分子側が、分母が雇用減。
1:03:00	雇用減ね。はい。分子が
1:03:04	マグネシウムの添加量と、
1:03:08	雇用減も差分になります。
1:03:12	雇用減と、上が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:15	転嫁てる過剰分添加量から小用元引いた値。はい。添加量イコールあぐね濃度で考えているので、
1:03:25	何、何て言ったらいいんですかね余分に。
1:03:28	溶けてるマグネシウムの量を、
1:03:31	を示している総合化フォワードっていうんですけれども、
1:03:34	そういったものに、
1:03:37	過飽和状態のマグネシウムが、全体の中でどれぐらいありますかっていう
1:03:43	全体意見は雇用減っていうんすか。はい。だから温度が高くなればなるほど、雇用系も高いから、雇用も高いし、8日でも高いんだけど、
1:03:54	だんだんだんだん雇用減は、下がってくるし、
1:03:58	高原下がってくるっていうことは分母をちっちゃくなるから、どんどんどんどん右側にくるっていうことと、
1:04:04	理解すればよろしいですか。
1:04:06	温度が、
1:04:09	上がると下がって、
1:04:11	過飽和度は下がると。
1:04:13	ということなので、だからTAX。
1:04:16	たくさんとけれ解けることができるし、タカヤ、
1:04:20	麻生です。
1:04:27	長南。
1:04:28	こう表現自身が、表現自身が高いから、当然、分母がでかくなるんで、大きくなるとちっちゃくなると、その下方はね、そうです。
1:04:38	温度が下がってくれば、温度が下がってくれば雇用減も費ちっちゃくなるから、おのずと、数値としては、見た目の数値かもわかりませんがそれを、
1:04:50	大きくなると、いうふうに考えていいんですかね。はい。まさにその通りでございます。
1:04:55	はい、わかりました。
1:05:02	1、
1:05:03	だから、どういうふうな猫の、すいません、析出しないって何となくこういうふうに、式でこう言われてきツジ、こういうふうに聞いて付けをいろいろご説明いただいているんですけども、
1:05:15	どういう、どう、このグラフ自身がどういう物理的意味を持ってるからそのようにはいえるのかってのはちょっとわかんなかったんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:23	その辺どっかに書かれてるのか、今簡単にご説明いただけるのだったらちょっと教えていただけませんか。
1:05:37	はい。神戸製鋼篠崎です。
1:05:40	物理的意味というところでございますが、
1:05:44	へえ。
1:05:48	そして析出する条件と、
1:05:50	いうのを、TP線図では時間と温度で示しましたと。
1:05:56	それから添加量もでございますが、
1:05:58	今度はその三つで示しましたということでございます。SNPs員数では、
1:06:06	評価指標変えているということでございますが、
1:06:10	まあ、過飽和度と拡散距離を使ったと、ということです。うん。
1:06:16	NEIMAこの二つのパラメータを使って整理する等、
1:06:20	マグネシウムの濃度依存性が、
1:06:23	なくなるというのがわかります。それはその四つの析出回線がほぼほぼ重なってるから、
1:06:31	そういうふうには言っているんですけども、
1:06:34	なので、1%の添加量に対しても、
1:06:40	関塚イセ使えるんですという主張をしていると。
1:06:45	ということです。
1:06:46	なので、物理的な意味としてはその析出開始条件を、これら二つの指標で整理しましたと。
1:06:53	ということです。
1:06:54	それで10ページに記載してございますが、間瀬木津甲斐線の原点側ですね。
1:07:02	こちらはどちらかというところとちょうどちょうど書記側になりますので、析出してない条件なんですけれども、なので、ちょっとこの条件の中ですね、60年間、
1:07:13	熱履歴を模擬する条件が入ればですね、
1:07:17	析出しないと。
1:07:19	いうが60年後も責任しないという判断になると。
1:07:23	いう意味になりますちょっと、
1:07:27	すごくわかりにくいところですけどもすごく、それもう感覚として、
1:07:33	わかります。私も何かいろいろ説明工夫してるつもりなんですけども大変申し訳ございません。以上です。
1:07:39	いえ。要は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:43	雇用量は、当然温度が下がると、こういう、すいません、温度が下がると、こういう面は下がってくると。で、
1:07:53	それで次室、見かけ上析出しやすいかもしれないけども、恐らくは動くこともできないから温度低いから、多分そういうことで、
1:08:05	このようなこと。
1:08:09	このような形でだから、要は、
1:08:13	先ほどのこのような形で、こういうことをその定義からいくと、この
1:08:21	床の下飽和度が下がれば下がるほどグラフでもその通りなんですけども、温度が高い条件を言っていて、
1:08:33	田子夏帆ワードが上がるごとにどういかな、
1:08:39	温度が低くなる。
1:08:41	という状態を表している。
1:08:45	端的に言ったら、そういう意味合いでよろしいんですかね。
1:08:49	神戸製鋼所野崎です。ありがとうございますまさにそのとおっしゃる通りで、温度が下がれば下がるほど過飽和度が上がっていくんですけども、9ページの、その60年基準線に示されますように、
1:09:03	イトウオンダそうですね、全然動かないっておっしゃいましたけどまさにその通りで、それを表現していると。
1:09:12	いうことになりますこの点
1:09:14	だから、はい。
1:09:17	もし、組織が引いてくると、どういう形であれ、カチンコチンなんて動きにくくなるということで、要はこういう
1:09:30	本来その温度でずっと置いてたときの雇用行為、だから雇用減という言葉だけで、その材料の状態とか何とかがって表現しきれないんでこういうふうな形で表されたってということ。
1:09:41	ですね、というふうに理解すればよろしいですかね。
1:09:45	はい。そのご理解で差し支えないと思います。
1:09:50	だから、
1:09:53	結構た高井書記の先ほどの火報Add-をそのよう改良というところが、それぞれの何%マーク年のその何%バグ値に相当して、
1:10:07	それと雇用元のやつをやると、大体高いやつは大体一致してまんなどいうことで、そこで
1:10:17	雇用してるやつが、
1:10:19	飛び出すか飛び出さないかというところはある程度トビアス量が決まっているよと、これが下がってくると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:27	あぐねの量が少なく、含有量が下がってくると。
1:10:33	飛び出せるやつもいなくなるから、析出できないと。
1:10:37	いうふうな考えが、感じなんですかね。
1:11:04	規制庁福田です。衛藤。
1:11:08	今のSNP線図で、
1:11:11	ここに書いてある縦軸の拡散距離は、
1:11:15	この温度における 60 年間、
1:11:19	.. 示してるっていう、そういうことで、
1:11:24	神戸製鋼篠崎です。はい。60 年基準線については、ご指摘の通り 60 年後の拡散距離を示しているものでございます。
1:11:37	ということで、この図が意図するところは、60 年経っても、
1:11:43	隣のマグネシウムと出会うことがないからその点は析出しないうことを意味してるっていう、そういう点を意味してると。
1:11:51	そういう理解で。はい。
1:11:54	なので原点側にある。
1:11:56	その今言った、
1:12:01	このエリアにある限りは、
1:12:04	もう、
1:12:06	阿呆はどう。
1:12:08	との関係もあるんですけど、
1:12:10	基本的には、
1:12:12	隣のマグネシウムと出会うことがないから、
1:12:16	出てこない、析出して、
1:12:18	一方で、このオレンジ色のP10のエリアには、オレンジ色のエリアにある方は、
1:12:25	隣の曲げ仕事でやっちゃうから、
1:12:28	析出しちゃう。
1:12:30	だから、このブルーのエリアにある限りは、
1:12:33	大丈夫ですということを言ってるという、そういう理解で。
1:12:54	規制庁松野です。一応こちらからの質問、確認は以上になりますので、
1:13:02	次のまた説明をお願いいたします。
1:13:26	すいません。次の米会次に進ませてもらってよろしいですか。
1:13:32	下島遮へいになりますか。
1:13:35	はい。これで純アルミ関係の、
1:13:41	メンバーとか言います。一旦ちょっとヒアリング中断します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:45	5分後ぐらいでまた再開しますのでよろしくお願いします。Ⅱ。
1:13:51	それではこちらメンバーそろいましたので、引き続き遮へいの説明をお願いいたします。
1:13:59	はい。
1:14:01	DMシモジョウです。そうしましたら引き続きコメント回答の資料の説明をさせていただきます。資料1-1で遮へいに関する、
1:14:13	コメント回答になります。
1:14:18	1-1の資料1-1の4ページで3の5番、コメント番号の3-5で、
1:14:26	あと前回、MCNPのその辺りフラクテーションチャートの説明をさせていただきましたけれども、もう少し説明をグラフ使うなどをわかりやすく、できるだけヒライオクを使って説明してくださいと。
1:14:43	というのが度コメントになります。
1:14:46	で、そのコメントの回答は、
1:14:52	同じ資料1-1の11ページになります11ページからになります。
1:15:00	前回説明して、A部箇所追加している機器内容を赤で示しております。
1:15:11	11ページは前回説明した通りなんですけれども、これを、
1:15:17	今回ご説明する2人フラクテーションちゃあ等は中性子の評価例について、
1:15:28	ですけれども、
1:15:29	四つの
1:15:31	統計、10個の統計指標のうちのオオウチ四つ。
1:15:37	が、
1:15:40	判定基準といいますか能の結果になっているというのを、
1:15:45	11ページに
1:15:48	MCPのアウトプットの抜粋を示してございます。
1:15:53	赤で示しているところですね、その11ページの下、その四つというのはリラTVAエラーの指標の
1:16:03	リーダーリベラが単調に減少すること。
1:16:06	いうのと、あと李IT部エラーの値がはい。
1:16:10	\sqrt{N} 分の1の
1:16:13	に従って減少することっていうのが、ノーになって、
1:16:16	もう一つバリア側ニュアンスのを、
1:16:20	という指標のうちの、一つ目が、単調に減少することというのと、あと、そのバリア。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:27	分散ですのでNの増える部分の一位のに従って減少することという、その四つの指標についてノーになっているというのが強い。
1:16:39	を示しております。
1:16:41	それに対しまして次のページで、12 ページに、
1:16:47	このワークステーションチャートのを図の 3-2 に示しておりますけれども、大きく変化しているのがヒストリー数が、
1:16:57	3 億 9200。
1:17:02	321 万 6000 円から 4 億 2500。
1:17:07	98 万 4000 円のこの二つの間で、取りラテフェイラーが 0.0038 から 0.044 に増加していると。それに伴ってですけれども、バリエーションも増加していますと、ということです。
1:17:23	これはこの間にですねウェートの大きな粒子が、谷井検出器のところに到達してしまったために、こういう、
1:17:34	誤差が大きく、増加したと、変動したと、増加する方向に変動したというふうに考えております考えられます。
1:17:46	そのため四つの統計指標がNOに判定されたということなんですけれども、この間の線量当量率の平均値、ミイの値が、
1:17:56	その差異というのが 3.8。
1:18:00	でありまして、李戸田マリアTBL後ミイの掛け算した値が 5.2 に対し、
1:18:08	それよりも小さいぐらいの値であると。
1:18:11	ということから、増えてはいるんですけどもその変動というのが非常に誤差の範囲レベルで小さいということでございますという説明を追加しております。
1:18:23	13 ページに参りまして、
1:18:25	統計指標の変動例を、このグラフで示しています。
1:18:32	が平均エミ平均値の値で、括弧Bがリアリティーウエダで相対誤差、括弧Cがバリエーション曾田バイアスで、相対誤差の相対日本語で言うと相対誤差の相対変化。
1:18:47	というような資料をワード、ABCの三つのグラフを、つつ、
1:18:53	示してございます。
1:18:55	このグラフからですね、ヒストリー須賀よう幾らの以降ですね、その辺動画は、洗脳した以降の、
1:19:06	後囊変変化の様子を見ますと、ミイの値というのはほぼなんだ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:11	に変化してランダムであるということ、取りアベラインとオオバリあんすウダ張りアースにつきましては、その変化した後は、単調に減少している。
1:19:23	よって大きな変動のあったヒストリー数以降においては、Noになった統計指標についても、
1:19:30	判定基準に本郷カッチした傾向で、を示していると。
1:19:35	いうことでございます。そういうようなことで統計指標で一部ノーになっているのもあるんですけども、
1:19:44	そういう結果を総合的に判断して、
1:19:49	評価結果に問題ない。
1:19:51	いうふうに判断いたしました、ということです。このような内容を、その説明資料者への布施資料の別紙 1 の方にも、
1:20:00	同じような内容を追記をしてございます。
1:20:06	本件のコメント回答につきましては以上になります。
1:20:10	はい。
1:20:20	規制庁松田です。あれ遮へのコメントってこれ 1 件のみ。
1:20:24	でした。
1:20:38	かあればまとめて説明をお願いできますか。
1:21:40	シモジョウさん。
1:21:42	聞こえてます。
1:21:45	ごめんなさいちょっとアノシモジョウですが
1:21:48	そちらの声がよく聞こえてませんでした。次、
1:21:52	移ってよろしいってことですか。
1:21:55	遮への部分をちょっとまとめて説明をお願いできますか。承知しました。
1:22:05	次のコメント。
1:22:12	サイトウコメントが、
1:22:16	コメントリスト等の 4 ページでナンバー5 番になります。
1:22:20	NCABの適用だ透明性について、原子力学会標準を参照にしているんですけどもそういう質問を明確にして説明文地区を統制して、
1:22:33	説明直しをすること。
1:22:35	いうことでございます。
1:22:40	それを
1:22:41	どう
1:22:45	認識オオウチの 1-16 ページからになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:54	今回、MCNPファイブここを使ってTK26型の遮へい解析ではこれを適用しているんですけれどもその妥当性については、
1:23:06	あと原子炉学会標準のシミュレーション信頼性確保に関するガイドライン、
1:23:11	に示されている四つのエレメントについて確認を、
1:23:16	を実施しました。
1:23:18	電波。
1:23:19	これらの各エレメントにつきましては、MCNP Vの開発元である米国ノロサノ結の文献を参考にして確認をいたしました。
1:23:28	以下、ananアノこの文章ではアルファベットを4文字で略称で記載していますけれども、ちょっと口頭です。読むのはちょっと発音しにくいので、
1:23:41	長田持つというふうに
1:23:44	略称で、あとすことは、ここでは口頭で説明させていただきます。
1:23:49	ノロサノ結の文献を参考にして確認をいたしました。
1:23:54	ただし卸さCAMSのの文献の中ではキャスクの適用妥当性について直接評価はされていませんで、その点については参考文献の2、
1:24:06	参考文献ってのはTn12-2の線量の測定値と解析結果を比較した文献であります。その論文を参考にして、TK議事録の妥当性、適用妥当性を確認したと、いうことでございます。
1:24:21	エレメント四つのエレメントというのは1が概念モデルの開発、エレメント2が数学的モデルか、江部さんが物理的モデルかという。
1:24:31	岩山衛藤がシミュレーションモデルの予測性能のは、
1:24:35	いうことになります。五つ目っていうか最後に提供妥当性ということ。
1:24:41	先ほどの文献に防災荘司西で説明を行ってございます。
1:24:48	(1)の概念モデルの開発エレメント位置についてですけれども、CAPコードは、放射線粒子の散乱、九州散乱等の物質との、あと放射線と物質の相互作用ですね。
1:25:02	ミクロ的な現象についてボイス輸送方程式を持って帰る方を用いて、
1:25:09	その物理現象をほぼほとんど金Gなしで解く解析コードということでございます。
1:25:16	従いまして物資倒壊ストリーミングと、一般的な放射線の強度を評価するということが可能であると。
1:25:24	そういう解析コードであるとか、
1:25:26	ということです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:28	MCNP V、MCNPコードで外の概念モデルというのは中性子やガンマ線等を、
1:25:34	吸収散乱アンドウ。
1:25:37	どの、マイクロ現象。
1:25:40	のシミュレーションに対して開発が行われておりましてその結果、原子炉、
1:25:46	夜中使用済み燃料総貯蔵容器等、
1:25:50	ここの、
1:25:51	遮へい解析でこれが必要となる。
1:25:54	放射線等を物質との相互作用。
1:25:57	マイクロ現象。
1:25:59	御厨現象に対するシミュレーションの概念モデルというのを考案しております。
1:26:05	また、募集と、物資等がストリーミング等の、そういう物理現象に対しても
1:26:11	対してもシミュレーションの概念モデルというものをアノを横断しているという、そういう解析こういうふうになりますと、
1:26:20	ということです。
1:26:22	次のページへ参りまして、(2)番で数学的モデルか、このエレメントの2番になります。
1:26:28	MCNPはボードは中世者が先頭の放射線挙動を、false間の輸送方程式を一覧すを用いた統計的な手法であるモンテカルロでシミュレーションを行っている、そういうコードですがこの数学的モデルっていうのは、
1:26:44	本解析コードDの回収会社開発元であるラミスで長年にわたって検討はされています。
1:26:53	概念モデルに対してどれだけ忠実な数学的モデルが、が行われているかというのを、数理モデルの変換に関する検証。
1:27:04	その検証プロセスも含めた観点から繰り返し検討が行われているということでございます。
1:27:14	最新のバージョンのリリースマツノ都度バージョンアップのリリースがされますけれども、物理的モデルの有効性並びに検証を含むリグレッションテスト。
1:27:28	及びその以前の場所における問題、バグであったりする形式だったりエラーチェックと、そういう問題の修正がずっと行われていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:39	ということです。
1:27:41	(3)番でエレメントの3で物理的モデル化です。物理的モデル化につきましては開発元ノロ皿ボスにおける検証で、評価済みの実験データを用いて計算を実行して、
1:27:55	このMCNPVの高MCNPのコード化等々、特に設計されているアマノ方程式ます確定モデルは、
1:28:04	物理モデルを忠実ににおける再現できる。
1:28:10	ことを確認するためにベンチマークテスト。
1:28:13	またその他の解析工場とを比較等が+実施されているということです。
1:28:21	中性子に関する検証は、例えばですけれどもバルス式中性子元からの検出スズキ時間を当時即時、またDT核融合炉の遮へい実験においてベンチマーク解析結果が示されてまして中性子束と実測値との
1:28:39	中性子束の実測値と解析値がよく一致するということが文献で示されています。
1:28:47	またACPコードと同様なものであるコードである、3次元輸送計算コード。
1:28:53	MVPとの比較も示されてまして、類似類似解析コードによる計算結果はともにオク移築することが示されていると。
1:29:03	ということでございます。
1:29:05	戸川間瀬に関する検証はRサービスからカワセのベンチマーク問題として、以下に示す六つの6種類の検証結果が文献で報告されてございます。
1:29:19	ヘドロサーブ数の方ではこの検証によってMCNPforエミ神秘コードがモンテカルロ法の
1:29:26	固有の統計誤差の範囲内で、6Cすべてシミュレーション。
1:29:32	シミュレーションが実験結果を有する有職できて
1:29:36	そのコードが広範囲の公衆層問題を正確にモデル化できるというふうに結論づけてございます。
1:29:47	次のページに参りまして、四つ目のエレメントでシミュレーションモデルの予測精度の判断ということでございます。
1:29:56	MCNPVコードで採用されているモンテカルロ法というのはランダムサンプリングをして、
1:30:04	統計論的な問題を解決する手法でございますので、コンピューター上で、数値的に受講される物理実験シミュレーションと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:14	いうふうに言えますと、このシステムは個々の物理現象に対する、またすぐしか行って平均値、また確率押さえするように構成されていますので、
1:30:25	層厚それぞれ出ますでアノを、
1:30:28	の方ですけれども物理現象の施工には信頼性の高い断面積ライブラリが必要になりますので、シミュレーションの予測性能を判断する上で、そのライブラリーというのは重要なものになります。
1:30:40	MCNPコードのシミュレーションの予測精度につきましては、1983年までは、主に米国内、それ以降では、高度化開発、配布された国々における検証結果等も踏まえて、
1:30:55	検討が行われておりまして、MCNPフォードが公開されるまでに、
1:31:01	シミュレーションの予測精度に関する膨大な事件が知久。
1:31:05	出席されてまして、そのプログラムの中に反映をされていると。
1:31:08	ということでございます。
1:31:10	その結果、MCNPコードは、保健物理、原子炉、臨界安全確保小数実行エネルギー物理、荷電粒子輸送、
1:31:22	保護者複雑な事件の計画等を幅広い分野で適用されておりまして、TK26型の遮へい評価に行う、遮へいオオバにも使う。
1:31:34	構造としては十分に信頼に足る、
1:31:37	シミュレーションの精度を持っているものというふうに判断してございます。
1:31:43	えっと5番目にTK20オガタのウノ適用妥当性についての確認についてですが、
1:31:52	TK26型の遮へいオカでは前述の通り適用妥当であると判断したMCNPV構造を用いて、遮へい解析を行っております。
1:32:03	ただ白サノ結では使用済み燃料用のそのキャスクに対するベンチマーク解析というのが直接行われていないため、アサノオク文献2を用いてD計26型への提供妥当性、
1:32:16	解析条件における保守性について確認をいたしております。
1:32:21	TN12-2型遮へい解析の参考文献2の対象を、評価対象になっている、輸送キャスクがTN20、12-2ですけれども、
1:32:34	TK26型の車両化と同様の保守的な結果を得るために、安全解析条件、
1:32:41	と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:42	あと可能な範囲で音波欲しいを排除した実測値を再現する会を記載するための、
1:32:49	解析条件も、2条件で行われています。MAAP4Aコード、
1:32:57	これMCNPVの前のバージョンになりますと、あと、BCP小、
1:33:05	藤堂とオオバforとして同じなんですけれども、サスサスIVM行動の二つのモンテカルロ計算解析コードを用いて、評価されております。
1:33:18	なお本方法における検討につきましてははですね測定点が多くて、線量等量率の分布が確認できる、軸方向の側部ですね。
1:33:31	色方向の測定値と、そのオオツカ、
1:33:35	排水景観について主に着目をして行っております。
1:33:39	二つの解析条件を表の5-1に示しておりますが、両者の解析条件というのはほぼ同等であるということがわかります。
1:33:50	次のページ、19ページの2表の方の1が、
1:33:54	ございましてTn12-2、文献2の
1:33:59	評価対象評価条件ですと、あとD系26型の
1:34:06	解析条件を一覧表にしてまとめております。
1:34:10	ライブラリーは、新しいライブラリになっている点が違いますけれども、
1:34:19	違う等はですね、
1:34:22	中性子のスペクトルが、atm12-2はスケールの冊数の取得地ですけれども、定検時LOCAで
1:34:32	ブルーミイ三級の確保でスペクトルを使っているという点が若干異なりますが、全体的に、もちろん急性遮へい材とか具体的な材料の種類は異なったりはしていますけれども、
1:34:45	キャスクの主な遮へい体の構造とか、その他の線源。
1:34:52	評価している線源というようなところは、非常に類似しているところと同じということでございます。
1:35:01	次のページに参りまして参考文献にて使って評価対象の12の2型の輸送容器の
1:35:11	構造、
1:35:12	と、あと隣の方で図は図の5-2の方では遮へい解析モデルの図を文献から抜粋して示しております。
1:35:25	次のページ21ページに参りまして、
1:35:29	その解析と実測値との比較した結果が、と括弧Aがません。
1:35:37	の線量藤堂線量率、括弧Bが中性子の線量率、その下にAとCというのが軸方向の測定した評価点の番号が1から9まで書いています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:51	その上の括弧Aと括弧Bの資料の横、事故、X軸の 1 から 9 というのがその下のキャスクの図の 1、①から⑨に相当してます。
1:36:04	それぞれ、
1:36:06	測定値が、渡船実践等は 1000、
1:36:11	点線で示されていて、
1:36:16	解析結果が、
1:36:18	サスforエンドウが 0 でA. CPが三角。
1:36:23	で示されています。
1:36:27	で、いずれもですね、
1:36:30	その分布の傾向っていうのは、
1:36:34	概ね一致しているというのが、ほんとにされます。
1:36:39	が、
1:36:41	次のページにもありまして、傾向としては、
1:36:46	今日しているというのはわかるんですけども、この図の評価解析条件では
1:36:55	保守的に設定した安全解析条件で解析しているため、実測値を上回る線量率、
1:37:02	全体的に高めの評価、解析結果になっているということでございます。
1:37:08	参考文献を実測値と解析結果のを比較をですね、投票の 5-2 にまとめております。
1:37:19	この表の中では実測値の最大値、
1:37:22	最大線量率の評価点を代表してまとめております。
1:37:27	MCPのほうでは、1.1 から 1.6、
1:37:32	9 倍程度の
1:37:34	大きさ、大きい感じ測地に対して、
1:37:37	大きめな値になっていると、いうことでございます。
1:37:42	参考に、冊数IVMの方では 1.1 からは最大 2.1 倍まで、大きな値で評価されていると。
1:37:52	この解析結果はですね、保守的な解析条件上安全解析条件で行っているためですけども、主な理由としましてはレジの厚さの制定、
1:38:03	緩衝体のバラ材の密度、あと燃料の事故後、ピーキングファクタの設定、
1:38:10	あと構造、
1:38:12	本材の放射化コバルト 60、
1:38:16	線源になる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:18	木場と 59 の不純物の設定等のその辺りの
1:38:23	条件設定が、
1:38:25	安全解析条件で保守的に設定されてるためにこういう高めの値になっていると。
1:38:31	いうふうな理由が考えられると、ということです。
1:38:35	23 ページに参りまして、
1:38:40	楨町の通り、アノ、Tn12-2 がたの使用済み燃料移送容器の測定値、
1:38:47	とを比較解析の結果からはMCNPコードの、解析結果は測定値の線量 応答率分布の傾向は、概ね一致しています。
1:38:58	安全解析ですが安全解析条件では、実測長にも保守的に評価されていると。
1:39:04	いうことでございます。
1:39:08	で、MCNP V 行動をTK20 型に
1:39:15	の解析に適用することについては以上のことから、妥当であるというふう 適用可能であると。
1:39:22	こういうふうに判断をしております。
1:39:25	なおですが、TK26 型の者へ評価では、参考文献における評価と同様に、 保守的な評価結果を得るために、収納する使用済み燃料の燃焼度 分布。
1:39:39	アノ品ファクターですね、を考慮しているとか、コバルト 60 の放射化制 限。
1:39:45	方。
1:39:46	とかは遮へい材の寸法とか密度の設定を保守的に設定していると。
1:39:52	ということです、TK2 の方の表 5 名及び表面から 1 メーターにおける 線量当量率評価、
1:40:02	ていうのは、
1:40:04	今回の分参考文献 2 と同等の保守性を有しているものというふう 考えてございます。
1:40:16	というのがいうところ、この
1:40:20	チハラのコメントの適用妥当性についてのコメントが、東条になります。
1:40:28	コメント管理表の方に戻りまして、
1:40:32	遮へいに関するところとしましてはこの分管理表の 1 とP4、4 ページ目 で、コメント番号が、
1:40:43	6-4、
1:40:44	2 番になります。これは前回ご説明したレジンの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:52	中性遮へい材の指導減損、
1:40:54	について、
1:40:55	水素元素に着目した。
1:41:00	評価結果
1:41:04	で評価した結果をフジイ的に設定されるということを
1:41:10	説明資料の方に追記をしてください。
1:41:14	というようなコメントがありました。
1:41:20	それにつきましては、
1:41:25	へえ。
1:41:33	このパワーポイントの指導では、
1:41:37	26 ページになります。26 ページではここで、生越。
1:41:46	あごめんなさい。
1:41:47	間違えました。
1:42:03	あ、26 ページ、26 ページの方では水素に着目して
1:42:09	保守的に設定されていると、いうことを前回コメント回答させていただきました
1:42:16	26 ページのところですね、その内容をこういうふう不正を有しているということを、補足説明資料の方に追求して、
1:42:26	ということでございます。補足説明指導し、例えば遮へいの補足説明資料で、
1:42:34	資料の 1-6 になりますけれども、
1:42:38	その説明資料の
1:42:44	資料番号 1-6。
1:42:47	別紙 1 の 11。
1:42:51	別紙 1 の 24 ページですね。
1:42:56	わかりました。
1:42:59	手元で開けましたでしょうか。
1:43:03	えっと遮へいの補足説明資料、資料ワードの説明資料で別紙 1 の 24 ページで、ここは修正剤の重量現存について説明してルー
1:43:15	パート部分になりますけれども、そこですね、種書きで書いているところ、特に一番下のところですね、中性子遮へいに最も寄与する水槽に着目した場合に、
1:43:30	中性子遮へい材の密度が、
1:43:34	3%が低下するものとして評価をした。
1:43:38	水素減損率と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:40	というのは発生ガスによる水素現存量よりも大きくて、ご指摘であるということを確認していると。
1:43:49	その重量現存出現ソウノを考慮しているんですけどもそれが水素に着目して、保守的に設定されているという趣旨の
1:44:00	記載の、補足説明資料の方に、追記をいたしましたということです。と同じ質量減損、中性遮へいにすぐ減損つきましては、
1:44:12	経年変化の資料補足説明資料の 16-6 号、同じ記載がございますので、そっちの方でも同様の追記をいたしてございます。
1:44:41	はい。遮へいに関連したコメント回答は以上になります。
1:44:49	はい。規制庁松野です。では質疑の方に移らせていただきますけども、
1:44:54	人数MCNPについて何かコメント質問がありましたらお願いします。
1:45:06	はい、規制庁のゴコウです。まず、
1:45:13	えとたりフラクチャーセッションチャートのところ、
1:45:16	ですけども、
1:45:18	コメント回答資料の、
1:45:21	11 ページからのところで、
1:45:24	あとは、前回、お願いした通り、
1:45:31	この
1:45:33	統計指標の
1:45:35	ヒストリーごとの変化の図をつけてもらってかなりわかりやすくなりましたので、
1:45:40	これ、こういう方針に従って型式指定のときにしっかり見ていただければいいと思うんですけども、
1:45:48	例えば 13 ページの図、図 3-3 で、
1:45:51	と括弧Aの平均値の図。
1:45:54	が出てますけども、
1:45:56	ここに、
1:45:58	相対誤差を入れ、エラーバーでつけるとか、
1:46:03	できませんか。
1:46:05	それを付けてもらうところの、
1:46:09	この平均値の変動に対して、それが選ば。
1:46:13	とどれぐらいの範囲で動いているのかってのがすごくわかりやすくなって、
1:46:18	見てると、
1:46:19	見た目にごくわかりやすいと思うんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:23	その辺りいかがでしょうか。
1:46:29	pnテラダです。
1:46:32	ちょっと見えるかどうかあれなんです
1:46:35	誤差に対して、
1:46:39	幅がですねちょっと入れて入れて目、目で見えるかどうかってのはちょっとあるんですけどちょっと入れることはもちろん可能ですのでちょっと入れてみます。
1:46:48	十分わかりますか。はい。ありがとうございました。
1:46:51	はい。わかりました。はい。はい。入れさせていただきます。
1:46:56	はい規制庁のゴコウです。
1:46:58	ここの
1:47:01	2人の金戸。
1:47:03	統計資料の変動のところはもうこれでかなりわかりやすくなったと思いますので、あとは具体的に型式指定のときに、
1:47:11	設計が固まって、
1:47:14	最終評価結果というのが固まった時にそれをどう判断していくかっていうところになるので、こういうところも、
1:47:21	当然、見てもらいたいっていうのと、
1:47:24	あとたびたび何、
1:47:27	審査の中で発言したと思うんですけども、
1:47:31	この統計指標の確認であるとか、最終結果の線量率の確認。
1:47:37	のところはかなりモンテカルロ計算の肝になってきますので、
1:47:43	ここに具体的に今回のこの型式証明の資料に片っ端から網羅的に、これとこれとこれとこれとすべて見ますよってところまで書いてもらう必要はないと思うんですけども、
1:47:55	方針としてはいろんな角度から多角的に、特に、
1:48:00	イエスの判断でノーが多かった場合であったりとか、
1:48:06	線量率が高く高く出て、
1:48:10	最大線量当量率示した場所であるとかそれに近い場所であるとか、重要なところについてはいろんな角度から、例えば1000アノ線量の分布図を見たり、
1:48:21	統計誤差の分布図を見たり、
1:48:23	必要であればこういう、
1:48:26	統計指標の変動を見たり、いろんな角度から信頼性高めてもらえば良いかと思しますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:34	そういう方針で、
1:48:38	評価していく一つとしてこういう具体的には今回こういうところ、
1:48:43	ちょっと詳細に書いてもらったという、多分そういう認識をしますので、それで大丈夫でしょうか。
1:48:53	はい。金テラダです。はい。承知いたしました。
1:48:58	はい、規制庁の方向です。その点はよろしく願います。
1:49:03	もう一つは、MCNPコードの適用妥当性のところなんですけども、これは遮へいの
1:49:10	補足説明資料、
1:49:12	の方で、
1:49:14	資料 1-6 ですね。
1:49:17	16-3 番。
1:49:21	の、別紙 4 の、
1:49:24	4 ページあたりから、
1:49:28	かなり詳細にいろいろと書いていただいて、
1:49:37	説明の流れもかなりわかりやすく、書いていただいたと思うんですけども、
1:49:42	ちょっと幾つか確認したいところと、
1:49:45	できれば記載を補強してもらいたいなという検討をしていただきたいところといくつか申し上げますので、
1:49:53	まず、
1:49:54	別紙 4 の 5 ページのところ、
1:49:58	AとBポツMCNP V コードの適用妥当性検証のところで、
1:50:04	まず、前置きとして原子力学会標準を参考に確認を実施しますよという、
1:50:11	宣言がされてますけども、
1:50:13	これまず、
1:50:15	あくまで参考であるので、今回のこの検証は、
1:50:21	検証。
1:50:22	きっちり定量的にっていうわけではなくて、定性的に、
1:50:27	最終的には保守的な評価ができますよというところで締めくくられていますので定性的な、
1:50:34	検証かと思うんですけどそういう認識で大丈夫でしょうか。
1:50:41	Tnサワムラ。
1:50:44	はい。PNサワムラです。その認識で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:50	規制庁のゴコウです。はいその点はわかりました。
1:50:55	え。
1:50:55	では
1:50:58	学会標準のガイドラインはあくまで参考という話ではない、今この後、
1:51:03	見ていきますけども、
1:51:05	その下にイベント1から4番まであって、
1:51:09	衛藤。
1:51:11	この中で物理的モデル化のところなんですけども、そのあとに、エレメント1から4まで、こういうところを確認しましたよというのが書いてあるんですが、
1:51:21	物理的モデル化のところで、
1:51:26	実験Dたを用意してそれに対する計算を実行して比較しましたというのが書かれているんですけども、
1:51:33	学会のガイドラインよく見ると、エレメントさんて、
1:51:38	実験データを準備しますっていうところで終わってるんですよ。
1:51:42	エレメント4の予測性能の判断のところでベンチマーク実験と解析の詳細な比較を行って、性能評価していくっていう、そういう方針で、
1:51:53	学会標準の方は書かれているんですけども、今回あくまで参考ということなので、必ずしもこの一対一対応で、
1:52:00	物理的モデル化はもうず、それしか。
1:52:04	この申請資料にも書きませんというところまでは徹底しなくてもいいとは思うんですけども、
1:52:11	ちょっとそこを今、参考資料、
1:52:14	と、今回のこのは、説明の内容とちょっとそごが出てますんで、
1:52:18	そこをうまく整理して、
1:52:22	もらえたらいいとは思うんですけども、これはちょっと話を再構成してくださいというところまでではないので、
1:52:30	あくまで参考にして、
1:52:33	学会標準の中ではこういうエレメント1から4の区分けがされていて、その中で、
1:52:40	トランスニュークリア面としては、こういう確認をするということを決めて、
1:52:45	例えばこの物理的モデル化と読む中に今回に限ってはこのベンチマーク計算の話も入れ、入れて、説明で便宜上そうそうすることにしますよという、
1:52:57	一言それが入れれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:59	そんなに細かく技術と、
1:53:02	一対一対応通らなくてもいいかなと思いますので、大事なのは、何が確認されてどこまでの証明がされたかという話ですので、そのあたりちょっと書き方なり、補足なり、
1:53:13	検討いただければと思うんですけども。
1:53:17	大丈夫でしょうか。
1:53:19	あとそうですね、Cの一部を、
1:53:24	Dに書く。
1:53:26	書いたほうがいいという感じもしますんでちょっとこれは検討再検討いたします。
1:53:36	はい規制庁のここです。はい。その点は検討よろしくお願ひします。
1:53:44	それで、具体的にどんな県、
1:53:49	文献を調べて、
1:53:51	どういうところも証明されているか確認したっていうところはかなり詳細にたくさん、
1:53:58	参照先も挙げていただいたので、
1:54:01	も、もうすでに先行例で認められてるところもありますのであんまり、もっともっと
1:54:07	データ用意してくださいというところまではないとは思いますが、
1:54:12	ないという、内容としてはこういう話で長さ流して行って、
1:54:16	いただいていいんですけども、
1:54:31	江藤付、最終的にやっぱり決め手になるのが、別紙4の17ページに挙げてもらってる線量率の計算値等、
1:54:41	測定値の比較で、
1:54:44	計算値の方が保守的に出ますよっていうところから、
1:54:51	保守的な計算条件をカセばちゃんと保守的な測定結果が出ますよというところの結論に、
1:54:58	流れていくんですけども、
1:55:01	それに、
1:55:03	それにあたっていろんな条件が、
1:55:08	どうなっていますかっていうのが、
1:55:11	別紙4の9ページあたりですかね。
1:55:15	載せた半分括弧Cから、安全解析条件の保守性についてのところで、個別にいろいろと、
1:55:22	評価してもらって、こんな保守的な条件が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:26	あります。一部は、
1:55:28	ちょっと詳細なところまでは議論できませんよというのも、正直に書いてもらって、
1:55:36	てあるんですけども、
1:55:37	この中で、
1:55:41	今回あくまで定性的な日、
1:55:44	評価だということなので、
1:55:50	完全に測定条件と解析条件の例えば不確かさを、
1:55:55	こっちは何%でこちら何%で、どっちが大きい小さいというところまでは、必要ないと思うので、
1:56:04	ここは確実に保守的、
1:56:07	な評価に繋がりますよっていうところがはっきりすれば、
1:56:13	それはそれで、
1:56:17	ちゃんとした説明になると思うんですけども、
1:56:21	一方で、まだちょっと足りていないところもあって、
1:56:30	ただ、一番大きいのはやっぱり
1:56:34	測定器の条件の話。
1:56:38	なのですが、
1:56:39	別紙4の中の片括弧4のところ、
1:56:44	検出器応答の角度依存性というタイトルがあるところがありますけども、
1:56:49	ここナカ読むと、間変換係数、線量率の換算係数、
1:56:54	の話が書いてあって、
1:56:56	これと角度依存性の話っていうのはどうどうリンクしてるんでしょうか。
1:57:04	TNのサワムラです。
1:57:07	へ、
1:57:09	カウンターの方では、
1:57:12	学ぼうる一ではないんですけど、線量計ですね、あれはもうすでに変換係数が(イ)依存性が込みで作られた。
1:57:22	傷が入ってて、
1:57:24	計算の方では、ランダムに飛んでくるものを計算して、そこで、
1:57:32	換算係数を掛けますんで、若干その角度依存性のデータが、メーカーさんからもらえるものではないんです。
1:57:43	少し異なってますよと。
1:57:46	いうのを言いたかったんですけども、それは大体一般的に、
1:57:51	この論文にも書いてあったんですけど、5%未満の誤差ですよと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:57	ということです。
1:58:01	はい。規制庁のゴコウです。まず検出器応答のところで大なのが、
1:58:08	校正条件の不確かさがどれくらいあるかっていうところが当然出てきて、検出機能、
1:58:15	これ、線量計なので、検出器についての窓に何mSvってす、デジタル値が出てきたか梁で示すかすると思うんですけども、
1:58:25	それがどれだけ正しいかというのがまず、
1:58:27	あって、
1:58:29	それが、
1:58:31	例えばもう誤差も不確かさも何もなくて、そこに出てきた数字はこの真実ですよっていうのを、
1:58:38	踏まえた上で、
1:58:41	計算じゃそっから何%上回ってますっていうのであればもうか、完璧な証明になるんですけども、
1:58:49	今ちょっとそこが抜けてるかなと思うので、
1:58:55	ここにある、角度依存性のようなことを考えて、影響は5%未満でありますよというのがある、ありますけども、
1:59:03	それも含めて、
1:59:06	測定値ってのはどれくらい信頼できるんだ。
1:59:10	ていうところをある程度はっきりさせないと、
1:59:16	計算値はそれを例えば20%上回ってますよといったところで、測定器の信頼性が25%揺らぐのであればあばナカナカ。
1:59:27	それで安全だと結論づけるのはしんどくなってきますので、
1:59:32	ここも定性的な評価ということで、
1:59:36	いろんなほ、ここにこれだけの保守性があるってそれが、
1:59:43	評価したい。
1:59:44	いろんなか、条件の保守性が、
1:59:47	線量率の評価結果のこの比較の図に、
1:59:51	現れているのか現れてないのか、まずその判別が必要だと思うんです。
1:59:58	例えば計算条件の中で、
2:00:02	遮へい体をちょっと薄く見てますよってのがあったと思うんですけども、
2:00:06	レジジンの厚さが平均11.2センチ、
2:00:10	なのに対して最初アサノ10センチで計算を行ってます。これは確実に、
2:00:15	公衆側の評価なので、それは計算値の解析結果に当然現れてきて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:22	測定値を上回る、
2:00:24	という結果を導き出す一つの要因にはなってますので、
2:00:28	こういった条件ってのはもう確実に上側にずれるっていう、
2:00:32	結果として図に表れている。
2:00:36	来てる。
2:00:37	と思いますけども、
2:00:39	よくわからない不確かさ。
2:00:42	ていうのはこの上にずれるのか下にずれるのかわからなければ、
2:00:46	統計誤差と同じで上下にエラーバーつけなきゃいけなくなってきますので、
2:00:51	ここ、
2:00:52	うまく整理して、
2:00:54	この条件は確実に上にずれるはずだから、
2:00:59	もう
2:01:00	解析結果に、
2:01:02	結果の数点も、
2:01:05	情報として入って入り込んでますよっていう、
2:01:09	そういう評価が可能だと思いますので、そこをうまく仕分けして、
2:01:18	程度の大小までは定量的な評価はしてないので、そこまでは求めませんけども、
2:01:26	相対評価としても確実にそ測定値を解析値が上回りますよっていうのが言えれば、
2:01:34	結論が
2:01:36	信頼性を持って説明できると思いますので、
2:01:41	その辺りを、
2:01:45	うまく整理できれば、
2:01:49	いいと思いますので、そういう意味では、今抜けているのが測定器の紙。
2:01:56	測定器で、られた測定結果の信頼性。
2:02:00	がどの程度担保できるのかっていうのと、
2:02:05	あと、燃焼計算の方ですねこれも、
2:02:08	別紙4の9ページの方(2)の、
2:02:11	燃焼度分布の影響というのが書かれていて、ピーキングファクターを設定してこれはかなり保守的な設定をしているので、これも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:20	計算値が保守側に出るような動きしかしませんよ。これは確かにそうだと思うんですけども、
2:02:26	燃焼計算、
2:02:30	要はオリゲンの信頼性みたいな話も当然ここに出てくるんですが、
2:02:36	これは多分どこかに別の、線源評価のところと線源条件評価のところに書かれていると思うんですけどもこういう、
2:02:44	例えば、
2:02:45	燃焼計算の入力条件では、ちゃんと保守的な設定をしているので、
2:02:53	オリエンで評価した。
2:02:55	名刺、
2:02:57	燃焼計算の結果の
2:03:00	線源強度は必ず保守、保守側に、
2:03:04	なりますというのが言えれば、
2:03:07	それが大きいのか小さいのかは別にして、
2:03:11	計算値が過少側にずれることはありませんよっていう立証ができると思いますので、
2:03:16	その辺りもうまく考えて、
2:03:28	家消せるというところちょっと言葉が変かもしれないですけども、
2:03:34	この情報は保守側の方にしかずれないので、それは計算結果の
2:03:41	比較の中にも取り込まれているので、
2:03:45	別途不確かさを評価して、
2:03:48	プラスマイナス何%ってところまで、
2:03:51	考える必要はありませんよってというのがはっきりすれば、
2:03:55	そこはキャンセルアウトできるかと思えますのでそこをうまく利用して、
2:04:08	計算結果と、測定値との、
2:04:15	比較と、実際の安全解析で、
2:04:21	考えた保守、保守性と、
2:04:24	あと、最終評価結果の、
2:04:28	基準値に対する余裕と、その辺り全部ひっくるめて、
2:04:33	安全側ですと言い切っていただければあの日、
2:04:38	非常にまとまりが良いと思えますので、
2:04:42	うまくその論理を組んで、
2:04:47	もう少し説明資料補足していただければ、
2:04:52	いい資料になるかなと思えますけども、
2:04:56	その辺りはどうでしょうか。P-サワムラです。そうですね今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:03	いただいたコメント。
2:05:05	反映してちょっと組み立て直して、もう少しずっと、
2:05:11	判断できるような文章にさせていただきたい。
2:05:14	まず、
2:05:18	はい。規制庁のゴコウです。はいその点はお願ひしますけども、ちょっとそこに絡めて、別紙4の8ページの、
2:05:28	年Cポツの段落の下から4行目のところに、
2:05:33	また以降ですね、安全解析条件に加えて可能な範囲で保守性を排除した測定。
2:05:39	一応、再現する会を3するための、
2:05:44	解析っていうのが出てくるんですけども、
2:05:47	この結果とか、そういった情報っていうのは出てきてますか。はい。PNサワムラです。この文章ですね
2:05:57	指す方、
2:06:00	のコードを使った答えを前載せてたんですけども、MCNPの答えがこれに関してはないんで、
2:06:10	結果の方を削除してちょっと文章が残ってしまってるんで、
2:06:14	この文章はちょっと削らせていただきたいと。
2:06:24	はい。規制庁のゴコウです。
2:06:26	どこでこの文章は落とすという方針であればそれに従って修正検討いただければいいですけども、
2:06:34	この
2:06:35	非常に保守的な安全解析条件の結果と、
2:06:39	可能な範囲で補修措置性を排除した。
2:06:43	計算の結果との比較っていうのがあればまたそこで、
2:06:49	うまく説明ができる可能性はあるのでそういう話かなってちょっと思ったんですけど。
2:06:56	結果がないから、
2:06:58	持っていないので、どう言うけん載ってませんし、
2:07:02	ここ以降、この話が出てこないんで、
2:07:06	そういう話ではない、なくて、ちょっと残っちゃったという話であれば、
2:07:10	それはそれで、
2:07:12	TN社の方針に従って、
2:07:15	ロジックを考えて説明いただければいいと思いますのでこの点についてはわかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:44	あと、規制庁のゴコウですあともう一つ、別紙4の10ページの10ページの、
2:07:50	片括弧5問、
2:07:52	表面線量率の
2:07:55	アノ産業書いてあるところですけども、
2:07:58	これは、
2:08:00	T0mカウンター等全体積検出器なので、
2:08:07	前提としては
2:08:09	DEMカウンターの中心の線量を測っているということになって表面ぎりぎりを図っているわけではないと。
2:08:14	で、解析の方では、年金付の普通たりを使っているのでそこにずれがあって、
2:08:23	えーと、計算値の、
2:08:26	方が表面ぎりぎりを図っているからその分大きくなってますよ。
2:08:31	ということですよ。
2:08:35	ちょっとこの判断が、
2:08:37	どうす、どう考えればいいのか。
2:08:41	よくわからないんですが、
2:08:43	どうぞ。
2:08:45	安全解析の時はその表面ぎりぎりです普通2人を、
2:08:51	張って評価するってのはよくわかりますけども、
2:08:55	ベンチマークで比較するときに、
2:08:58	別のところの、
2:09:01	線量を比較して、
2:09:05	計算側の条件が保守的だから当然保守的になってますよっていうのは、何を示してることになるのかってのがちょっと今整理がつかないんですけども。
2:09:16	そのあたりのお考えは、
2:09:19	どうでしょうか。
2:09:22	TNサワムラですこの論文では、2人を、
2:09:30	計算側で当たりを表面2人にくっつけてしまって、計算していると。
2:09:39	本来ならば、
2:09:42	確かにベンチマークという意味では、
2:09:46	禁止つき中心部で評価していく。
2:09:51	あればよかったんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:54	聞き方としては、じゃあ、これをもって何が、
2:09:59	安全側であるかを示すためには、
2:10:03	ここもちょっと修文させていただいて、
2:10:06	と思います。
2:10:08	これ0ではちょっと結論が見えにくいんです。
2:10:14	はい。規制庁のゴコウです。
2:10:19	ベンチマーク解析のところそのレームカウンターの体積を再現して線量を出して、それとは別個ここで書いてあるように表面に年金月を設定して、
2:10:30	その二つの比較を取っているんだったら
2:10:35	安全解析条件は、
2:10:38	保守的ですよって説明がうまくできたかもしれないんですけども、
2:10:42	これとりあえず今はそういう、
2:10:45	つもりでこう書いたわけではなくて、あくまで論文がこういう、
2:10:50	条件で下書いてあるのでそれを引用してますよ。
2:10:53	ということだと理解しましたので、
2:10:57	ここもこれでな、何を示しているのかというのがはっきりわかるように修文いただければわかりやすくなるかと思いますので、
2:11:08	よろしくお願いします。
2:11:30	他、
2:11:31	村井さん。
2:11:34	すいません。規制庁櫻井ですけど。何か
2:11:38	追加で、
2:11:39	MCNPVの適用妥当性についてのところで、赤字とかで記載していただいているこのTKTM、
2:11:49	十人の新潟、
2:11:51	輸送容器って書いてあるんですけど、これって今を使われてるやつなんですかね。
2:12:01	DNSサワムラです。
2:12:04	国内では使用してないと思います。これどこで使ってるんですか。てっきりですね私。いやちゃんと、ちゃんとしていいんですけど
2:12:14	後で、この輸送容器、この適応の、
2:12:20	適用実績ありますよって、別紙の4-5にあって、(8)以下、
2:12:26	3章であって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:28	そうすると、東工大の輸送容器のやつが載ってるんですけど、これかなあと思ったんですけど、これではないんですね。
2:12:36	あ、すみません、中身を見てないんであれなんですけど、(8)とはちょっと違うんですよね。で今非架空でえっと、
2:12:46	TN-12 の場合新潟、これなんて呼んでるんですか。
2:12:50	PTAの所に、12 年、
2:13:00	あつて、そっか。鶉飼それを論文としてはですね 17 番、中にあります。はい。
2:13:14	なるほど。一緒に。
2:13:17	それから、
2:13:21	10 名ナカガワわかりましたありがとうございますで、すみません概要パワポの 19 ページとか見るとこのティーズ 12 の場の 2 の上に(2)ってるんですけど、
2:13:32	これ何の(2)。
2:13:34	あれですかね。
2:13:37	エレメントにのここと。
2:13:43	すみません。
2:13:44	この資料 1-1 の、
2:13:47	需給、すみません飛んじやって、19 ページのTn12 の坂野新潟の上の(2)ってるじゃないですか。
2:13:56	これわあ、
2:13:58	どこの注釈を読めばいいんですか。
2:14:02	注釈じゃない。
2:14:07	アノシモジョウです。
2:14:10	はい。すみません。
2:14:13	TN12-2 型の
2:14:16	表の中の、
2:14:18	勃発期の(2)は、何を示しているのかというご質問でしょうか。
2:14:30	阿曾、後ろの参考文献ってことなんですね。で、一緒のやつに飛ばしてるってことですね。
2:14:37	わかりました。
2:14:40	ちなみにこれ、甲斐日本ではやってないってことなんですか。ちなみにどこら辺で使われてるとかわかりますか。
2:14:48	この右にスズキさんとか、
2:14:53	約 25、5 年し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:56	二十二、三年前のやつですけど、
2:15:03	サワムラ
2:15:06	は、ちょっと運用されてるかどうかはちょっとわかりませんが、緩和されております。
2:15:17	さっきになったのは、江藤、今回で、
2:15:23	コードの妥当性、なんでそこまでじゃないかもしれない、前例があるって いうことだけでもいいのかもしれないんですけど、
2:15:32	被告で出してきた。
2:15:35	なので、その
2:15:37	相手方Tn12の10、12の2型が、
2:15:42	これ信用してやつなのかなってただそれだけなんですけど、これみんな 知ってる、なんか。
2:15:50	こう、
2:15:51	表立って、
2:15:53	出てくるようなキャスクなん。
2:15:56	ですかね。
2:15:58	何て言うんですか。
2:16:42	Tnサワムラですけど、下条さんこれ、
2:16:45	私の方から答えてもいいんですか。
2:16:50	シモジョウですすいませんちょっと
2:16:54	音声クリアに聞こえなくてですねちょっと質問ご質問の趣旨がよく理 解できておりませんもう一度お願いできますでしょうか。全然適用妥当 性にあまり関係、直接は関係ないんですけど比較対象として出てきたこ のTn12の新潟、
2:17:12	が、一体、
2:17:14	何ものなのってそもそも論から始まって、資料とかに輸送容器なんです よねって出てきたんですけどこれって使われてルーのそもそも論ってい う、
2:17:25	素朴な質問なんですけど。
2:17:28	その比較対象がそんなに何か、
2:17:31	ただの解析コード当てはめただけです。
2:17:34	データ系なのかそれともう他の国でも使われてても全然実績とかあり ますよっていうものなのかそれが知りたくてお聞きしました。
2:17:45	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:46	時計のシモジョウですこのTn12の2っていうのは実際に今現時点ではもう使われていないキャスクなんですけれども、過去、
2:17:57	使用済み燃料の輸送容器として使用されていた実績のあるキャスクでございます。
2:18:05	それで回答になってますでしょうか。
2:18:09	回答になってます。ちなみに日本じゃないってさっき遮へいのご担当の方からおっしゃってたんですけど、日本じゃなくてちなみにどこら辺とかわかるんですか。
2:18:23	杉村サワムラです
2:18:26	そのTn10 新潟とかは、
2:18:30	まず、日本からフランスに使用済み燃料を運んで再処理するために、
2:18:38	使われた容器で、日本で使い終わった後、他国向けでも使われることはあります。
2:18:45	従って、今、
2:18:48	保管はされてるんですけど、
2:18:51	へえ。
2:18:52	まだ動いてるキャスクもある可能性はゼロではないと。
2:18:57	ということです。
2:19:00	ただ、
2:19:02	それがどこの国かはちょっと、
2:19:04	フランスで使われてますよまだ。
2:19:08	使ってますかね。
2:19:09	はい。
2:19:11	それじゃ臼田氏、同様のキャスクは、確か、早くいうだんだん代替わりしてますけどね。
2:19:20	これさ今国会からフランスに行くとき運んでて使えるわね。1980年代から、
2:19:30	日本の発電所と、フランスの再処理施設を、の間の象に共有されていたキャスク。
2:20:10	すいません衛藤氏素人の考えだと、ぱっとTnん-12-2方は、実績があるさっきおっしゃってたように、
2:20:20	日本とフランスの間、運んでたよっていうやつはもう知ってる人は知ってるんでしょうけど私知らなかったんで、
2:20:28	資料定格ことは、むしろトランスニュークリア側にとっては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:34	いいんじゃないのかなって思ったんですけどね、多分、当たり前すぎて書いてないだけなんですけどね。きつとね。
2:20:45	ちなみにホデさあの全然このヒアリングと関係ないんですけど、国内で使い終わったやつを他国で使う。
2:20:53	ていうのはどういう締め切りで、
2:20:56	終わるんだね。よくよく分かんない質問の意味が、
2:21:00	でもさっき、全然このヒアリング関係ないんですけど、
2:21:04	1 回このT-12-2 が、
2:21:06	使い終わって、他の国で使われてるはずですよ。いやだから、そういう意味ではなくて、多分、日本で、
2:21:17	日本とヨーロッパの間使われてるやつっていうのは、多分、どっかで悪い言い方すると、スクールスクラップ町がんな、になってると思います。
2:21:29	ふうん。
2:21:32	だからもう、当然、日本での許認可とか、容器承認というのはすべてもう切れてる状態、期限は終わってるからってことですね。うん。うん。
2:21:45	ありがとうございます。すいません。
2:21:54	規制庁の松野ですけども。
2:21:57	フェーン
2:21:59	パワポ汁 1 点確認なんですけども、
2:22:03	22 ページ目の括弧 5 の、
2:22:06	一つ目のレ点で、
2:22:10	この図の 5-3 に示す通り安全解析条件で解析しているでも実測値を上回る線量当量率がえられているっていうところの文言なんですけど。
2:22:21	これ 03 を見ると、
2:22:25	が 1000B で中性子。
2:22:29	線量率、
2:22:30	例えばこれ γ a - γ 線。
2:22:36	線量率で見ると、
2:22:40	アット 1 メートルのところで、
2:22:45	計算値と測定値が、
2:22:49	一部逆転してるところも、
2:22:52	見られるかと思うんですけど。
2:22:57	それは先ほどの、
2:23:00	まとめんところで、
2:23:03	実測値は 0 線量当量率で獲られているっていう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:07	ことはね、言い切っちゃってこれ問題ないんですか。
2:23:14	はい。Tnサワムラです。ちょっと、
2:23:18	ここはですね
2:23:20	確かに、
2:23:24	下回る場所もあることはあったんで、
2:23:31	最大値を出す、測定点で説明を作りました。
2:23:37	はい。
2:23:40	その他のところ、下回ってるところもありますけどもそこは最大値ではないんです。
2:23:49	あ、ちょっと、
2:23:50	下条さん今のでよろしいです。
2:23:58	すみません
2:24:00	今松元さんのご質問の内容の確認ですけれども、
2:24:07	そのグラフの図の5-3のグラフで、
2:24:14	一部実測値を下回っているところがあるのではないかというそういうご質問ですか。そうです。
2:24:22	すいません例えば具体的にはどのあたりのところを下回っているというふうに、
2:24:30	括弧Aの
2:24:32	はい、2、2番目と3番目とこのあと1メートルのところの、
2:24:38	はい。
2:24:39	これは、
2:24:41	黒丸はまた違うんですか。
2:24:45	何かこのグラフが結構、
2:24:48	白黒で、
2:24:50	この点の、
2:24:52	形が、
2:24:53	結構重なってて、
2:24:57	下回ってるようにも見えるんですけど。
2:25:01	それはそういうふうに、このグラフで
2:25:05	読み取れるのか読み取れないかっていうところもあるんですがあとは実際、それを逆転してる場所、この点に限らず、逆転する点はあるかないかって言ったら、
2:25:15	どちらになりますか。
2:25:20	えっとですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:22	般部の方は、
2:25:25	ちょっと
2:25:29	キャスクの、
2:25:31	モデル化の問題もあって、ちょっと元文献をよく確認する必要がありますけれども端部の方では中央部よりも端部の方でちょっと実験しと。
2:25:43	解析値が似たような値になってたり、或いは若干もしかしたら下回っているようなケースもある可能性があります。
2:25:56	若菜。
2:25:57	ちょっと端部の方ではですねそういう可能性があります。
2:26:02	あったかと。
2:26:04	何をもって、
2:26:05	ちょっと元文献をよく確認する必要が、
2:26:11	あります。
2:26:13	ちょっと待ってくださいね。
2:26:16	ええ。
2:26:19	と。
2:26:33	と今ちょっとこちらの方でもトブン系のその γ 線のあと1メートルの
2:26:38	田井の元文献のデジタル値を見まして見えていますけれども、
2:26:47	このグラフ上ではちょっとプロットがすぐれて、見えづらいですけども、
2:26:53	デジタル値で見るとその不足分方向の分母の中で、その評価結果が、実測値のDたを下回ってるといいますか非安全側に評価していると。
2:27:07	いうことは、奈須ないですね、ないという結果になってます。わずかであっても上側に、
2:27:18	実測値を上回るような結果になっている。
2:27:21	取得方向の分布の1から9番ですね、そのグループの
2:27:25	評価結果。
2:27:26	ミツイはそうなってます。
2:27:32	規制庁松野です。わかりましたわずかデジタル値では、わずかであっても、すべて上回ってるっていうことであれば、
2:27:44	わかりました。はい。
2:28:02	規制庁松野です。では遮へいに関わる、こちらからの質問と確認事項は以上となりますので、次の説明をお願いいたします。
2:28:14	次進めてよろしいですか。はい。お願いします。はい。遮へいに関しては、本会合は以上です後、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:25	コメント回答の資料の中では一覧表リストに戻っていただきますとあと残ってるところ、非常に簡単に、
2:28:35	へえ。
2:28:37	この交流をちょっとご説明させていただきますと、一覧表のコメント管理表の5ページの、
2:28:45	13の4番ですね、5ページの一番下の13-4で、ええとこれは
2:28:52	臨界解析。
2:28:55	の、1077と1055燃料を混載したときに、総合作用で何か反応度が上がるというようなことがないかという。
2:29:05	コメントがありましてその関連で、前回ですね、4、4体配列の組み合わせで、ほとんど反応度に、
2:29:16	影響はないという説明をさせていただきました。それが、
2:29:22	計算では4体配列なんですけどもそれを26体配列になった時でも、問題ないということを書き込んで欲しいと。
2:29:34	いう趣旨のご質問はイトウコメントがございましたので、それについては、
2:29:42	追記をさせていただきました。
2:29:48	そのパワーポイント今の資料1-1の29ページになります。
2:29:57	資料1-1の29ページの
2:30:01	赤で書いているところですね。
2:30:04	この本評価結果は、市燃料集合体4台入れについてパラメータサーベイした結果であるが、中性子実効増倍率の値がTケジュール型の冠水状態の値とほぼ同じ。
2:30:18	やることと、あとD、26体配列もこれらの組み合わせであるといえることから、26たTK20オガタにおいても、
2:30:29	これの燃料の相互差異による有意な影響はないと考えられるという趣旨の
2:30:35	記載を、を追記いたしました。このような記載につきましては、あと臨界の補足説明資料を年16-2の方の別紙5に同じような記載を追記しております。
2:30:50	というのがこの回答になります。
2:30:56	放置、
2:30:58	本日用意していたコメント回答につきましては以上になります。
2:31:03	よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:06	すいません。ちょっと先ほどちょっと来聞き漏れたんで、聞き漏らしちゃったというか、質問、質問というか、し、確認し損ねたんですけども、
2:31:18	規制庁の方ですけれども、1点教えてください。
2:31:24	えっとね。
2:31:25	この1-1の26ページのところなんですけれども、
2:31:35	この何だこれ、中性謝罪の質量現存のところ、
2:31:41	回答のところ、
2:31:45	数値的にあれですけれども、水素の現存量というのがあって、
2:31:51	密度に実際出られた減損率ですね、これ掛け算したっていう、こういう式が書いてあって、
2:32:01	下の方で実際に保守的に解析に数値書かれてて、
2:32:11	その場合の、水素の現存量はってこう数値書かれてるんですけども、
2:32:18	と、これってね、パッとこの説明だけ見ると、先ほどのヘリウムの現存量、
2:32:27	光岡家の、次の数値ですね、実際の測定された現存量を、
2:32:35	解析でやった分の値になると思ったんですね。で、
2:32:40	下に、ヘリウム現存量の評価結果っていうところ。
2:32:46	赤囲みした数値書いてあるんですけども、
2:32:51	大体これと上の文章のやつを比較すると大体2倍前後だと思うんですけども、
2:32:58	単純にね、この何でそこはそうなって、単純にやると、先ほどの、実際出られた現存量と、保守的に解析で設定した。
2:33:10	現存量の比率になるような気がするんですけども、ただそうになってないっていうのは、何か機器、計算のやり方が違うんですかね。
2:33:23	TNシモジョウです。
2:33:29	今その後、ご質問の趣旨をもう一度確認しますと、水素の現存量を、そのP26ページの評価式で、
2:33:42	運は生活成分の
2:33:46	分析結果から計算した値がありますと、それに対して、今回遮へいで使っている保守的に切り上げて
2:33:59	開けて減損率を設定した水素現存量。
2:34:02	がありますと、で、そういうふうにして計算した結果が、約2倍ぐらいの差になっているんですけども
2:34:15	東ソーの出資は
2:34:18	実際の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:23	うつろ減損率、
2:34:25	あと、その保守的に切り上げタシロ減損率の比率と、実際その水素水ソ ウノを減損率に換算した。
2:34:35	比率っていうのが、あと、同じ、同じになってないっていうのはなぜかそ ういう。うん。そうそうそうそうそう。
2:34:45	はあ。
2:34:47	ですよ。うん。ちょっといいですか。植野式で書かれてんだったら上の 式で導かれるようにね、いうことだと思うんですね。で、
2:34:59	要はこの下で使った数値と違う数値が、ここのいろんな式の、例えば、 ガス成分中の、
2:35:09	水素の含有率とか何とかってところ。
2:35:13	書かなんかこう言うような式で書かれてるんだけど、ここで普通パッと 見たら、獲られたものは何なんだろうなど。
2:35:24	だからこの辺は変わらないと思うんでね、多分この比率の差しか出てこ ないんだけど、
2:35:32	この比率と、
2:35:37	違いますよね。
2:35:42	えっとですね
2:35:44	その水素減損率発生が数、分析の結果を考慮した水素減損率っていう のを、
2:35:55	か、あと、
2:35:57	実際の実際の水素減損ルールも多めに、
2:36:03	この計算、計算してる、分析結果がその分析結果から計算している評 価っていうのは、実際の水素の減損率よりも、
2:36:13	多めについていうか
2:36:16	赤目に計算されている。
2:36:19	からだと思います。
2:36:22	であればね、もう少し丁寧に説明し、要は、
2:36:27	今、
2:36:28	やっておられることが正しいということであれば正しいことをちゃんと説 明するようなね、ちょっと修文を考えてもらった方がいいと思うんですよ ね。
2:36:38	ここでシリーパッと書かれてて、結果としてこうなりましたよっていうこと であれば、この、このシートの中で書かれてる情報っていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:47	中間的な結果っていうとおかしいけど実際の現存量に従ったやつは下の表ですと、それをこうしたら、この文章の最後のところに書かれてる、現存量ですよっていうふうに、やっぱ誰もが読むと思うんですけども、
2:37:02	上の式通し算式下の下で、要は、
2:37:06	導出された数値のね、考え方が、
2:37:09	そこは違う。今ちょっと違うようなことをおっしゃったと思うんですけども、
2:37:15	上の言い方がいいのかそれとも、
2:37:18	その下の数値を出した導出の過程をちゃんとやられた通りのことを書くかっていうふうなこと考えられた方がいいんじゃないかと思います。
2:37:27	以上です。
2:37:28	すいませんちょっと確認です今、下の数値っていうのはその表の中に書いてある赤で困ってるそうそう。このこの確認のうちというのはこの水素現存量の評価式。
2:37:43	で、各成分のガスの中の
2:37:48	えっと水素現存量足し算やったらいいですのでそこは正しく、
2:37:54	評価がこの数字正しいだ、正しいんだと思いますよそれぞれ。
2:37:58	正しいと思うけども、文章のな、この、このシートの中で書かれてる情報から、最終的に自分、要は、解析でせ、解析を行う上で設定された数値、最後の数値ですよ。
2:38:14	なんちゃら倉林、1本センチっていうところがね、コードシートの中で導けるように、導けるだからこういうふうに出したんだねっていうことが理解できるように、ちょっと
2:38:27	修正された方がいいんじゃないかなっていうことです。
2:38:33	ここの一方っていう、文章のところで書いてある保守的に聞いて、評価した実際にその、うん。
2:38:44	しゃべり解析に使っている条件で、水素のその場合の水素減損率を評価すると、お幾らでやるって書いてあるんですけど、ここのこの数字の、どういう仮定をちゃんと管理方法はそうそうじゃないかと。
2:38:58	いう、そういうご質問です。米谷そうですね。わかりました。そこをちょっと補足。
2:39:03	そこの記載を補足するようにします。
2:39:05	はい、お願いします。
2:39:17	規制庁松野です。
2:39:21	あと本日残りの説明は、
2:39:24	外部事象の説明。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:28	になりますか。はい。コメント回答の件は以上になりますので次は、自然現象の大戸凱様。
2:39:37	ポイントをご説明を、その説明につきましてはそちらに、対面しておりますオクムラの方からお願いします。
2:39:48	はい、説明いたします。奥村さんお願いしますがもう4時。
2:39:52	15分過ぎてますので、
2:39:55	まず、
2:39:56	手短かに説明していただいて、
2:39:59	はい。
2:40:04	パワポに書かれてある内容で何か補足する点何かポイントとなるテインを中心に、
2:40:13	手短かに。
2:40:15	説明をお願いできればと思いますけども。
2:40:22	もう十分ぐらいで、はい。
2:40:31	それ、それではトランスニュークリアの奥村の方からご説明いたします。
2:40:40	アポイントの方でご説明していますのが、四条五条六条関連でして、
2:40:50	構成としましてはですね設置許可基準規則に対する適合性に対してのご説明になっております。
2:40:59	で、先行の他社の
2:41:04	すでに
2:41:07	認可を受けている。ここではMSF-2、24PS型
2:41:14	と比べまして、
2:41:16	同じであるというところに関してはちょっと割愛させていただこうかなと思ってます。江藤。
2:41:25	方針として同じですというところは
2:41:29	そのまま同じですと全く同じですので、活動され、割愛させていただきまして、少し違うといったところを中心に、
2:41:39	ご説明いたします。
2:41:41	まず6ページ目なんですけども、
2:41:45	こちらではですね第4条の地震による損傷防止に関する適合性のお話でございますが、
2:41:59	この表のですね、一番上の欄になりますが、要求事項を第4条第6項に規定する地震力に対してその安全機機能が損なわれる恐れがないものであること。
2:42:13	これに対する対応としましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:18	そっか、これですね、ごめんなさい、ここはこの
2:42:22	同じです。
2:42:25	すいません。これ同じ、いいですね、同じですのでちょっと。
2:42:31	で、
2:42:33	ふうん。
2:42:35	8 ページですね 8。
2:42:38	まして、
2:42:39	これが審査ガイドの確認内容に関してのまず許容限界の考え方のところで少し違いがございます。
2:42:52	ここではですね地震による損傷防止設計の対応というところで、
2:42:59	TK26 型の方の考え方は、金属キャスク構造規格に基づいて、
2:43:08	密封境界部に生じる応力の許容限界は弾性範囲内にとどまるように設計すると。
2:43:16	バスケットに関しましては、臨界防止上有意な変形を起こさないように設計すると。
2:43:23	いう形でして、
2:43:25	ここは少し異なっています先ほどの先行の
2:43:32	MSF24P菅田
2:43:37	の場合はですねバスケット等に関しましても弾性範囲内にとどまるように設計するというふうになっております。
2:43:45	それ、
2:43:47	から、
2:43:51	木野違いはですね。
2:44:14	今のことに絡みまして 10 ページの方で
2:44:20	具体的な
2:44:24	評価方法について述べているんですけども、この下部トラニオンにつきましては同じ考え方で評価しています。
2:44:34	一方その下のところのバスケット今申し上げたバスケットですねバスケットに関しては、
2:44:42	同じように応力評価式による評価を実施しているわけなんですけども、
2:44:52	この欄の真ん中あたりに書いているようにバスケットは金属キャスク構造規格、これの供用状態でいい。
2:44:59	機能評価を、評価基準を、
2:45:02	満足するように設計しているということになります。その他の部位である、密封境界部、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:11	外灯電熱フィンの評価の、
2:45:14	方法につきましては同じ考え方を、
2:45:18	用いています。
2:45:22	はい。
2:45:24	へえ。
2:45:30	になりまして
2:45:33	あとこれ今四条の地震に関するものを述べたんですけどもその他です ね第5条、或いは第6条の考え方も、
2:45:46	評価方針ですね評価基準に関しては全く同じものを用いてまして今申し 上げたようにバスケットは、金属キャスク構造規格、これの
2:45:58	バスケットの供用状態Dの評価基準を用いているというところではすべ て共通した考え方で
2:46:07	評価を実施しております。
2:46:15	あと、
2:46:18	先行と少し違うところで言いますと5条の津波に関する損傷防止のとこ ろですね。
2:46:34	実際の17ページの方見ていただきますと、
2:46:39	17ページで密封境界部、具体的には道自分た三つシール部それから 一時豚ぼ地豚ボルト。
2:46:49	これと、あと、バスケット格子材の評価を、
2:46:54	に関する
2:46:57	評価方法について述べ、示しているんですけども、
2:47:01	これはMS
2:47:05	の、
2:47:07	24Pや菅田と、
2:47:11	は違ってまして日増産の必須。
2:47:18	なんだ。
2:47:19	2、24。
2:47:22	江藤と同じ考え方で、
2:47:27	評価してまして、津波、荷重で評価する部分と、あと、比較として設計 荷重ですね、設計荷重を、
2:47:37	用いて、比較をし、
2:47:40	あと、
2:47:42	評価、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:45	ここに示しているように、津波荷重が計算されるわけですが、これに対して設計荷重、これを包絡するような大きな値の設計荷重を、
2:47:57	設定しまして、この設計荷重のによる評価の結果を、
2:48:05	示して、
2:48:07	津波荷重に対して、健全であるということを、
2:48:12	示しています。
2:48:14	それがこの今申し上げた 17 ページに、
2:48:20	載せている。
2:48:22	考え方でございます。
2:48:25	この辺りは西蔵さんですとですね全く同じように、同じような考え方、考え方としては同じ。
2:48:34	設計荷重を用いてというところは同じような考え方を持ち、
2:48:50	えっと、
2:48:52	津波荷重に関してはそのぐらいですねそれから第 6 条に関しては竜巻、磯野、外部からの衝撃ということで主に竜巻なんですけども、
2:49:05	ひいきに関しても、
2:49:09	違う。
2:49:10	ているところは、
2:49:14	まあバスケットに関しては先ほど申し上げた金属キャスク構造規格、方も聞いているというところは違っておりますが、
2:49:23	へえ。
2:49:24	あとは、
2:49:27	同じように竜巻荷重に対してそれを包絡するような設計荷重、これを、
2:49:34	評価に用いて、
2:49:38	評価している。
2:49:39	いうところが、異なっているところになります。
2:49:56	ただし今申し上げた先行の 2 社のやり方のどちらとも違うというような、頭んところはなくてですね、
2:50:07	評価の、
2:50:08	考え方或いは評価手法に関しては、
2:50:14	どちらかと、同じ考え方である。
2:50:18	いうことを採用して評価しました。
2:50:22	ざっくりですけど、
2:50:28	規制庁マツノです。
2:50:31	ちょっと今から質問確認を。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:35	ちょっと私の方からいくつか聞きたいんですけども。
2:50:40	津波と、
2:50:42	竜巻で、
2:50:44	例えば津波の方で、
2:50:48	行きますと、17 ページ目に、
2:50:51	表の方の1で、
2:50:53	津波荷重と設計荷重。
2:50:57	はい。大学、書かれているんですけども、
2:51:02	これ、申請書の方を見ると、
2:51:06	津波カジヤ 5.7 掛け 10 の三条、
2:51:11	D、
2:51:13	設計荷重の方は、
2:51:16	申請書の方では 2.8×10^{-4} 条、
2:51:20	になってるんですけども、
2:51:23	なぜこれは値が違うんでしょうか。
2:51:46	申請書の添付の 1-71 ページの第 1-6-
2:51:51	6 の表の、
2:51:52	評価結果に書かれてある。
2:51:55	津波と竜巻で、
2:51:57	竜巻の方も見ると、
2:52:00	評価結果の値と、
2:52:02	基準値の辺り両方ともちょっと違うんですけども、
2:52:05	その違いもあわせて説明をお願いいたします。
2:52:14	すごいです申請書の方とお持ちですかね僕私ちょっと今今日持ってきてなくて、見れないんですけど。
2:52:22	確認できますか。
2:52:29	シモジョウです申請書何ページ。
2:52:35	ありますでしょうか。1-71 ページですね。
2:53:00	年少々お待ちください。
2:55:09	あ、すみませんTnシモジョウです今、
2:55:13	ご質問、確認申請書等の記載とちょっと違うところがあるというご指摘だったと思うんですけども、
2:55:22	もう一度確認させてください
2:55:26	津波荷重の評価。
2:55:29	について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:32	の箇所になりますでしょうか。
2:55:37	規制庁の松野です。津波荷重は一緒値は同じなんですけども、
2:55:43	まず設計荷重の値は違うのはなぜですか、まず一つ目の質問です。
2:55:51	すいませんちょっとあの音声がよく聞こえなくてですね申し訳ないです
2:55:56	えっと、
2:55:57	もし申請書申請書の、もしお手元にマツオさん申請書をお持ちしたら、申請書のページを先ほどいただきましたけど、
2:56:08	あれ、下条さん今申請書見れる状態ですか。
2:56:12	今
2:56:14	パソコンで申請書をミイ1、その箇所を開いて見ようとしています。1-71ページ目見られていますか、一応7、1-71ページですね。はい。
2:56:25	そのの、
2:56:31	これ評価結果の表があるかと思うんですけども、
2:56:36	ちょっとあのスクリーンで、
2:56:38	画面を共有してみ。
2:56:41	トライしてみます。
2:56:52	今映りましたでしょうか。はい今映ってます。
2:56:55	ここの1、最後のこの自然現象。
2:56:59	0
2:57:00	津波と竜巻があって、
2:57:03	津波荷重は 5.7×10^{-3} 条で、
2:57:07	その横の 2.88×10^{-4} 乗であるんですけども、
2:57:12	これ注意書きの5があって、注意書きの5を見ると、
2:57:17	0.3メートル垂直落下及び0.3メートル水平落下時に、
2:57:22	気圧検証時衝撃力の小さい方の値とあるんですけども、
2:57:27	はい。まずこの2.88掛け10の4乗というのは何の値か。
2:57:33	説明をお願いできますか。
2:57:40	オクムラさん説明お願いできますか。トランスニュークリアオクムラです。まず 2.88×10^{-4} 乗kN、これは設計、
2:57:51	荷重のこの注5の通りのまず0.3メートルの
2:57:58	落下時のKSK設計加速度がございましてそれ掛けるキャスクの重量を、から求めたものなんですけども、
2:58:09	今ちょっと割り戻してみると、この2.88の方はですね、キャスク重量が118トンで計算していると思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:58:21	そうするとそれは貯蔵時の日数型のときの、
2:58:27	重量になっています。一方でこれ一ですんでちょっと記載が、本来、0.3メートル落下の場合は前後に、
2:58:37	緩衝体がついておりますので、118tというのが間違いということになりまして、実際は 130。
2:58:47	トンあまり、
2:58:50	ですのでそれが
2:58:53	正しくは 3 人
2:58:56	ということになるかと思えます。
2:59:00	申請書の値が間違ってるって今説明ですか。
2:59:05	そうですねこの注 5 の考え方はあくまでも、
2:59:10	この
2:59:13	日数が輸送時の姿ですので緩衝体込み。
2:59:19	の方、
2:59:22	話ということになると思えますそれが正しいと思えますので、そうすると 2.88 の場合は、貯蔵時の重量掛ける設計可塑衝撃力ということになってまして、
2:59:36	そっちが間違いであろうというふうに今判断しました。
2:59:45	まずは申請書に書かれてる内容で、まだ説明するのが、
2:59:51	はい。はい。
2:59:52	それから違うんであればそれを踏まえて、違うことを説明をお願いできればと思えますけど。
2:59:59	最終的には補正が必要になってくるって今説明ですか。
3:00:04	経営のオクムラですご指摘いただいた通り間違いですので修正が必要になるということになります。
3:00:13	ちなみに津波の方は、荷重値が若干違いますけども、これも間違いですか。
3:01:14	うん。
3:01:21	起こります。
3:01:23	まずは、申請書に書かれてる内容で説明をお願いしたいと思い。はい。衛藤。
3:01:31	元っていうのは小村です。そうしますと今申し上げたように少し当町、町が含んだ数字が申請書に今載っているわけですけども、
3:01:41	特に設計荷重の方の 2.88%置いておきまして 8.45 につきましては、
3:01:52	それでちょっと話を展開していくというのが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:56	おかしいことになるかと思うんですけども。
3:02:00	どのようにさせていただきました。
3:02:06	まずはこの 8.45 っていうのは、
3:02:12	具体的に何の、
3:02:13	ことかっていうことからまず始まると思うんですけど、そこに多分、
3:02:18	本来であれば、合算する値を、
3:02:24	が多分、この評価結果の荷重値として、
3:02:28	記載しなければならない辺りになるとの隙間説明だったので、
3:02:33	その辺りは多分丁寧に説明する必要があると思います。はい。この注意書きに書いたこの垂直落下と水平落下カーで衝撃力の小さい方の値とありますけども、はい。
3:02:45	これ、基本水平落下のほうが小さいのですか。そうです。その通りで垂直落下の値っていうのも出てるんですか、荷重値としては計算されてるんで計算をしています。
3:02:56	それは補足説明資料に載ってますか今、
3:03:02	いや、補足説明書には載せていないい。
3:03:06	です。はい。
3:03:10	それも、とりあえず申請書の、
3:03:14	注意書きに、
3:03:18	垂直落下のことも書いてますので、はい。そこは確かに、どちらか多分小さいほう。
3:03:25	ていうのを明示するってそうですね。はい、わかりました。
3:03:28	ようわからんな。
3:03:35	規制庁も、
3:03:36	ここでさ何か補足。
3:03:38	確認私、はい。何か今声が来たので、
3:03:41	私ですか。はい。
3:03:46	今声が聞こえたので何か。
3:03:48	いや、特に
3:03:50	なんかね、すいません規制庁ほどですけども、何か重量でやったとか何とか、何か違うとか何とかってというのが非常に理解しづらいんですけども、
3:04:03	別に確かにもう、
3:04:06	センチと多分意図はね加速度から逆算して、多分、えっていう意味合いなんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:04:19	これが、要は計算の過程でね、こういう計算コード使われてるかわかんないけれども、緩衝体がつぶれたときの衝撃荷重っていうのは、当然その解析コード、解析コードなり何なりで出てくるはずだから、
3:04:34	その値を正直に言ったらいい話をして、今みたいに、いや輸送中がこうだからとか、貯蔵中がこうだから、
3:04:44	とかっていうのはねちょっとね、話として、説明、説明、要はロジックとしてちょっとどうなのかなというふうにちょっと思いました。要は、何にしる、
3:04:55	どういう緩衝体を想定されて、どういう加速度を出したかっていうよりも設計荷重というのが大事なんだから、その時に要は、例えばこれであれば、上部緩衝体から上部緩衝体から、
3:05:09	フランジの方にインプットされる荷重はどういう荷重なんですかっていうことであればね、重量とか何とか関係ないじゃないですか。
3:05:18	だから別に 0.3メートルでその重量がどうじゃこうじゃなんていう議論なんてね全く関係ないと思うんですけど、少しロジックをちょっと整理された方がいいのではないかなというのは、1、今ちょっと思いました。
3:05:31	はい。以上です。
3:05:38	はい。ありがとうございます
3:05:42	りすTnオクムラです実際の解析のやり方としては
3:05:48	発足クドウを全体に、当然これ間慣性力ですので対象とするとキャスト、もちろん緩衝体も含めてですけどもそういったものを、に対してかけております。
3:06:01	ですんで解析の実施Cの時には確かに反力も、
3:06:07	間違いはないことは確認はしているんですけども、着目してるのはあくまで加速度を、に着目して計算した加速度自身がなさないでしょ、荷重できるのはここで荷重で書いてんだから、中でちゃんと、
3:06:21	その会社がどういうふうに導出しましたかったら、0.3メートルの時のあれで言う緩衝体のつぶれつぶれ量から計算しましたっていうのが本当じゃないのかなと思いますけど。
3:06:33	要するに 0.3メートルだろうが 0.4メートルかそれは関係ないですよ。
3:06:38	そうです。その通りは別ですよ。その 0.3メートル時に要はそのフランジ、フランジね、要はその
3:06:50	えっと、このアトベメキニワソネ、3メートル時にフランジ、フランジ部に干渉への確認をされる。
3:07:03	インプットされる荷重ですって言われる、サピックスっていうか、ちょっとほ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:09	要はねよくちよつとここ、加速度マジックみたいなところは待っちゃったの かなって感じがちよつとしました。
3:07:17	要はあんまり過疎化速度から逆にどうするこうするって話すると、先 ほどみたいな流量がこうじゃこうじゃちゅう話になっちゃうんだけど、 それは全然、今回のね、この貯蔵の花、貯蔵キャスクみたいな。
3:07:34	56条のね、結局、提供するってことの見通しの説明においてはね、 その荷重自身が、実際に受ける津波荷重よりも大きい荷重をかけまし たとその時にプラントをどうします。スタート落としますって話なんだか ら、
3:07:46	そこはあんまり混乱するような、やってることは正しいかもしれないけど も混乱するような説明はちよつと避けた方がいいのではないかなと思ひ ます。
3:08:01	秋野オクムラですはい承知いたしました。
3:08:13	規制庁松野です。
3:08:14	では今の点は、もう一度、
3:08:17	再度、
3:08:18	持ち帰って検討していただいて、少し、
3:08:21	説明ぶりを少し、
3:08:23	検討していただけたらと思います。
3:08:26	それから、
3:08:30	その点が多分一番大きい点かと思うんですけど。
3:08:34	あと細かい点でちよつと幾つかあるんですけども、9 ページ目のところ の、
3:08:40	ガイドの確認事項で地震のところがあるんですけども、
3:08:45	ここで、
3:08:47	一番上のところの、
3:08:54	対応内容なんですけども、
3:08:57	ここで、
3:08:59	本体バスケット虎については、
3:09:02	キャスクの構造規格を参考に応力評価する。
3:09:06	疲労評価も、
3:09:08	確認し、
3:09:10	すると、該当についても、設計建設規格を参考に評価する。
3:09:16	伝熱品だけが何を参考にして評価するってこと書いてないんですけど も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:23	これは多分、
3:09:25	冷熱品安全機能がそこに設計するっていうのは、多分一番最後のところで評価する話を書いてありますので、
3:09:33	ここで書くべきところは、何を参考に評価するのかっていうところは多分、
3:09:40	フィンについて書かれてないので、
3:09:43	これ、ちょっとあの、記載の修正を、
3:09:45	お願いします。
3:09:49	はい。ディー・エヌ・エー奥村です。はい、承知いたしました。
3:09:53	あと11ページ目なんですけども、
3:09:57	これとライオンの応力評価結果で、
3:10:00	トラニオン本体の
3:10:02	例の断面で、評価結果が、
3:10:06	示されてるんですけども、
3:10:08	この左の図を見ると、
3:10:10	これ、BとCっていうのは、何を、
3:10:16	意図してるものなんですか。はい。
3:10:18	TA-オクムラです。詳しくは補足説明資料には載せているんですけども、AとBとCは、ちょうどその断面が、
3:10:29	大きさ断面形ですね、外径が変わっています。それと、及び内径の方も絡んでくるんですけども、
3:10:36	単純に外径が変わって、
3:10:40	出るだけではなくて内径との絡みもありますので、どれが本当に一番厳しいところかというところに対して、B、C、Dというさ三つを設けて、比較したということに、
3:10:53	BとCの評価結果ってのはこのパワーポに出てこないんですか。すATMオクムラです。一番厳しいかったものをこのパワーポイントには載せてるんですけども、BとCに関しては、補足説明資料には結果は載せております。
3:11:11	なんか、BとCのところの断面がどの断面違いがちょっと、この
3:11:17	左の絵を見る限りはちょっと、
3:11:19	わからないんですけども、BとCの違いが間違いです。ですねBの方は、一番
3:11:28	外径が小さい、左の方にちょっと四角囲みしてますけども、この三つの中の一番小さい外径に該当するのがBになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:11:40	で、Cに関してはそれより少し大きくなっている、真ん中のところに書いている数値が外径となっています。
3:11:53	であればもう特にこのパワポ資料で、BCは特に示す必要がないのかなと思うんですけど一番厳しい。
3:12:04	0の断面で評価をやってるのであれば、あえて、
3:12:09	でも、
3:12:10	BCは、
3:12:12	書く必要もはないんですけども、逆に、
3:12:15	この
3:12:17	表の4-1の、
3:12:19	トラニオン接続部のところ、
3:12:22	図で示してもらった方がそちらの方が、
3:12:25	良いかと思うんですけども、
3:12:29	はい、承知しました
3:12:31	T-オクムラです。
3:12:34	この左の図は、
3:12:38	補足説明資料との整合という今意味で、そのまま抜き出したものですからBとCが残っておりましてこれについても評価は実施しました。
3:12:50	で実施したんですけどもDが厳しいということで、Dを乗せたんですけども、今
3:12:59	アドバイスいただきましたようにBとCはもうここでは関係ないということで、表記は突破していただきまして逆に
3:13:10	接続部はどうなってるのかということに関して、追記という形で、
3:13:17	させていただきたいに示して示したいなと思います。
3:13:22	はい。
3:13:23	お願いします。
3:13:25	私、全然今のところで私的BC言って、絵はつけてるけど結果載せてないだけですよね。
3:13:34	違うのかな。今のコピー、BC、
3:13:38	そうですよね。うんうん。
3:13:41	そうすねいやてつきりアノだったらもう結果もう変な話、載せちゃえば、こっちよりDの方が厳しいんですよって、選考そういう形なんですよねだから多分乗せてきたのかなって私は思ったんですけど。
3:13:56	そうです。
3:13:57	そうそう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:59	そうすると、なので、今朝、消す消さなくてもいいから結果載せちゃえばいいんじゃないですかっすいません私は思っちゃいましたけど、あまりそれは偉い選べばいい。
3:14:09	だから、そうっすね。
3:14:12	昨日 9 月承知しました補足説明にはそのままアノ計算結果載ってますので、そのまま、はい。すごい値、何か先行のあれですけどすごいっちゃくして、
3:14:24	接続部の中のごちゃごちゃしたやつや書いて、あと、Bと、一つでいいと思いますけど、
3:14:32	李よりもちっちゃいやつ、能勢ちゃえばいいんじゃないかなとすいません思いました。はい。
3:14:42	あと私すみません、ここですけど、
3:14:47	よろしいですか。
3:14:50	えっとね、す。
3:14:53	先行例でもちょっと申し上げたんだけども、
3:14:57	当校トラニオン接遇のところってこれ、
3:15:02	をねじたから書いてあんだけども、
3:15:05	本体の評価ってどっか要らないか。普通の本体の評価出てますよね。だからメネジっていうのもいると思うし、
3:15:14	当然、トラニオン使われてる材料と、本体の材料違いますからね。その辺が必要かなというのと、
3:15:25	これ、せん断は多分ネジ山のせん断だと思うんですけども、
3:15:31	これとね、ねじ山がね、つぶれない要はシアツ。
3:15:36	シアツについても評価を追加してください。
3:15:47	だからメネジの評価も要るんじゃないですかっすというのが一つ。要は、西山のせん断だけじゃなくて、ネジがつぶれないということ、いう観点で 4 月も評価してくださいというのが、もう一つ、
3:16:01	以上です。
3:16:05	Tーオクムラです。承知しました。
3:16:10	すいません規制庁サクライですけど、地震のところで、バスケットが、臨界上有意な変形を起こさないって別に、これはこれも多くないですけど、
3:16:21	具体的なことを多分指定で聞く尼子なんだろう、詳細にもらえばいいかなと思ってるんですけど、現段階で、
3:16:30	貯蔵状態とか輸送状態とかは分けて解析とかしてるんですかね、これ、所蔵状態だったら例えば弾性範囲内に収まっているんだけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:16:40	ソウノ時のちょっと※の評価条件とかになったら、
3:16:46	やっぱちょっと変形しちゃうんですね、とか、そういう感じなんですか。
3:16:51	これどういう、
3:16:53	何て言うんですか、今どういう、T+2位の中でどういう評価として持っているんですか。
3:17:02	変な話で弾性範囲内に収まるんだったらそう書きゃえば、
3:17:07	という人達もいたのにわざわざこういう何かこう、
3:17:12	変形を起こさないように設計しますって書いたりし、している事業者を見て、
3:17:18	ガイドの表記がそうだからっていうのもあるかもしれないですけど、
3:17:24	ちなみに先行の三菱社も弾性範囲内におさめるぜって言っていて、そこら辺どうなんですかね。
3:17:32	はい。T-オクムラです。
3:17:35	今輸送状態っていうことですけどそれは多分9メートルロッカーということですよ。
3:17:42	すいませんちょっと記憶が曖昧なんで確認は必要なんですけども、
3:17:48	弾性範囲内だったようには思っているんですけど、確認させてください。それで、今回、どうして
3:17:58	弾性範囲内ということで書かなかったかという、単純にそれは金属キャスク構造規格の書きぶりに合わせたということであって実態としては
3:18:09	全然それは弾性範囲内ですっていうところではあるんですけども、はい。
3:18:19	はい。
3:18:59	今のところに関連してごめんなさい。いえ、規制上テラノです手短に一応申請書には、バスケット臨界防止上有意な変更変形を起こさず、
3:19:09	云々って書いてあって、Dさん補足説明、いえ、補足説明資料にも、一応一応、さっき金属構造CHASTEのDの状態でも問題ないし、プラスチックで
3:19:22	さっき降伏点よりも十分に小さい2メガぐらいしか発生しないので十分に小さいので塑性変形しないので大丈夫ですっていう記載ぶりになっているので、
3:19:32	そういった層理になるように、資料をちょっと、
3:19:35	論理構成をしていただければいいのかなと思いますはい。
3:19:44	はい、Tnコーナーで承知しました。
3:19:51	規制庁マツノですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:54	あと、細かいところで1点。
3:19:56	竜巻のところ、
3:20:06	24 ページ目の、
3:20:09	(3)の、
3:20:12	A評価で、
3:20:16	ヒライ設計を、飛来物の限界、
3:20:20	貫通圧を評価していうところは、
3:20:24	これ具体的に何を表想定したかっていうのはこの表の6-4に書かれてあって、
3:20:32	小令和、
3:20:35	高専、
3:20:37	具体的にこれ、表の6-1で言うと、
3:20:41	抗生剤になるっていうことでよろしいですかこれ。
3:20:47	この表の6-4の種類と、
3:20:50	表の6の、
3:20:52	1で示す種類とは、
3:20:56	同じものなのか違うものなのか、ちょっとそこを説明をお願いしますか。
3:21:02	はい。経営の小村です。全く同じものを、表の6-1の設計飛来物のところから一番厳しくなる。
3:21:14	間ズーに関して厳しくなるものとして選んだんですけども、確かにおっしゃっていただいてから気づいたんですけど、構成材なのか構成。
3:21:26	板なのかということなんですけども、同じものを指してますので、ちょっとそろえる必要があるというふうに、それはちょっとそろえて、
3:21:36	ください。はい。
3:21:48	規制庁マツノ外部事象について、
3:21:52	ホデさんから何か補足追加で、
3:21:55	ありますか。
3:21:58	特に
3:22:01	今のところは見当たりません。わかりました。
3:22:06	では、
3:22:08	こちらからの質問、確認事項は以上となります。
3:22:13	これで、
3:22:15	今日の説明は、
3:22:18	以上でよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:22:28	はい。あと、木野シモジョウですはい。当方で準備している。
3:22:33	資料とせず、資料の説明はこれで以上でございます。
3:22:37	では、本日のヒアリングはこれで終了したいと思います。
3:22:43	はい、どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。